

は じ め に

岐阜県博物館は、県立の総合博物館として昭和51年5月に開館して以来、「岐阜県にゆかりのあるもの」を中心とした調査研究・資料収集・保管・展示を行うことで、県民に広く学びの場を提供してまいりました。おかげをもちまして平成28年度は、開館40年目を迎えることができました。この間、岐阜県の学術文化及び博物館教育の拠点として、大変多くの皆様にご利用いただきましたことを心から感謝申し上げます。

平成28年度は、特別展2回の他に企画展と移動展をそれぞれ3回、マイミュージアムギャラリー展示を8回開催いたしました。夏季に開催した特別展「新・恐竜学 ～鳥になった恐竜の脳科学～」(7月8日～9月4日)では、恐竜のエンドキャスト(脳が収まっていた頭蓋腔)を3Dプリンターで再現した岐阜県博物館オリジナル資料などを通して、近年の研究で明らかになってきた恐竜の脳の形や鳥類に進化するなかでの脳の変化を探る機会となりました。

特別展「東海地方の円空仏 ～その造形と足跡をたどる～」(9月23日～11月20日)では、総数80点を超える東海地方の貴重な円空仏や円空が描いた希少な絵画を紹介することで、東海地方における円空が残した足跡について再認識する機会となりました。

そのほか企画展「伝統と創造 岐阜県重要無形文化財のわざと美」(4月23日～6月19日)では、岐阜県重要無形文化財に指定された陶芸分野、染織分野、金工分野の技術と作品を紹介し、また、「あなたが知らない鳥の世界」(11月26日～29年1月29日)では、中部地方で最大の鳥類コレクションを所蔵する当館の資料を中心に膨大な鳥類標本から約500点を選びすぐり、鳥の体のつくりや生態を知り、私たちの生活とのかかわりを考える機会としました。「古生物の復元画 ～小田 隆の世界～」では、日本を代表する恐竜復元画家の小田隆氏の作品を中心に展示し、研究者と協力して科学的に作製していく過程とその意義を紹介しました。

さらに、移動展として飛騨高山まちの博物館において「ひだの自然」(4月13日～6月12日)、中山道みたけ館において「弥生から古墳へ ～可児・加茂地域の墳墓と集落～」(6月25日～8月21日)、岐阜県図書館において飛騨美濃合併140周年記念特別展「岐阜県誕生」(7月12日～8月28日)を開催しました。そのほか開館40周年記念講演会として、各分野における著名な研究者による講演会を全5回開催しました。また、ハイビジョンホールを活用した博物館学芸講座を年間12回、特別展講演会を5回、三重県総合博物館(MieMu)交流企画の講演会を2回開催しました。これらの講演会を通して当館の学芸員の調査・研究や最先端の研究を伝える場を提供することができました。それ以外にも、ミュージアムシアターを週末に実施し、人文・自然両分野の映像資料を上映しました。

平成29年度は、特別展「生きている大地 ～地質図が語るぎふの大地～」において、県内各地を代表する岩石や鉱物を通じてふるさとの大地の姿や成り立ちを紹介するとともに、私たちの生活と大地との関わりを紹介します。特別展「壬申の乱の時代―美濃国・飛騨国の誕生に迫る」では、美濃が大きな存在感を示した壬申の乱を紹介するとともに、県内を代表する古墳時代から奈良時代の遺跡の出土品を中心とする関連資料をもとに「美濃国」「飛騨国」の誕生に迫ります。

このほか、特別展講演会を4回、博物館・図書館連携企画展として岐阜県図書館において「東西激突! The 関ヶ原 ～関ヶ原合戦と岐阜城合戦～」、飛騨高山まちの博物館において「見つめる目 写真家の見た飛騨美濃 ～細江光洋の飛騨・増山たづ子の徳山・後藤英夫の円空～」を計画しています。三重県総合博物館(MieMu)との交流企画として講演会、ワークショップを開催します。これらの活動を含め、広く県民の皆様に親しみ、学んでいただける催事を多数計画しております。また、調査研究活動、資料収集保管活動、サポーター協働事業、外部機関との連携といった活動、収蔵品や資料の館外展示による観覧機会の提供など、より一層の魅力発信に努めてまいります。

ここに、平成28年度の活動の記録を紹介する「岐阜県博物館報 第40号」を刊行いたしました。県民の皆様をはじめ多くの方々にご高覧いただき、当館の更なる発展のためにご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年4月1日

岐阜県博物館長 中 島 守

目 次

はじめに

I 博物館概要

1 設置目的	1
2 基本的性格	1
3 基本方針	1
4 沿革	2
5 歴代館長名簿	3
6 施設・設備	4

II 平成29年度の組織・体制

1 職員	6
2 展示活動	7

III 平成28年度のあゆみ

1 職員	9
2 岐阜県博物館協議会	10
3 日誌抄	10
4 実施事業の概要	11
5 展示活動	11
6 調査研究活動	22
7 資料収集活動	28
8 教育普及活動	29
9 利用状況	39
10 博物館関係団体	40

IV 利用案内（平成29年度）

41

I 博物館概要

1 設置目的

岐阜県の人文、自然両分野にわたる諸資料を収集、保管、調査研究、公開し、併せて教育普及活動を行うことにより、広く県民の学習の場となり、また文化財保護の精神の涵養に役立て、新しい教養と文化の発展に寄与することを目的とする。

2 基本的性格

- ・岐阜県の人文（考古、歴史、民俗、美術工芸）、自然（動物、植物、地学、古生物）等に関する諸資料の収集保管、展示、調査研究及びそれらの活用を図る総合博物館とする。
- ・県内外の博物館及び相当施設との活発な交流を図るとともに、本県の中央博物館としての役割を果たす内容と設備を有する施設とする。
- ・学校・社会教育機関等との密接な連携を図り、利用者が楽しく学習することができ、未来への研究心と創造性を開発できるような生涯学習機関とする。
- ・館蔵資料や地域情報のデジタル化を進め、ホームページの広報機能と学習機能を充実させる。
- ・資料の収集及び保存並びに展示に関する専門的な調査研究を推進する。

3 基本方針

(1) 資料収集活動

県内の人文・自然等に関する資料を収集する。

資料は、実物を中心とするが、必要に応じて厳密な考証に基づく復元模型を含める。

寄贈、寄託、借用、購入等により収集する。

(2) 展示構成

展示は、常設展示と企画展示とする。

常設展示は、人文・自然の2部門に分け、それぞれ総合展示と課題展示を行う。

総合展示は、概説的な内容とし、誰もが親しめる平易な展示とする。

課題展示はテーマを設定して、概説にとどまらない、より深く理解するための展示とする。

企画展示は、一定期間に、特定のテーマを設定して年に数本を行う特別展・資料紹介展などがある。

展示は以下の点に留意する。

- ・生涯学習の場として、幅広い年齢層に親しめる展示
- ・資料の単なる羅列ではなくストーリー性のある展示
- ・各時代の特色やテーマの本質をとらえた展示
- ・できる限り実物資料の展示とするが、図表や模型等の資料も活用した展示
- ・できる限り資料に直接触れることのできる展示
- ・視聴覚機器などを取り入れ、見る人に強く訴える展示
- ・解説が明確で分かりやすい展示
- 各展示室の主題と内容は、次のとおりである。
- ・人文展示室（人文総合展示）
主題「郷土のあゆみ」・・・先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示する。
- ・自然展示室1（自然総合展示）
主題「郷土の自然とおいたち」・・・郷土の自然の概要を系統的に展示する。
- ・自然展示室2（自然課題展示）
主題「郷土のさまざまな自然」・・・特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示する。
- ・特別展示室、企画展示室
一定期間に、特定のテーマを設定して、資料紹介するなど、年に数本の特別展・企画展を行う。特別展期間中の企画展示室や企画展期間中の特別展示室では、人文課題展示を行う。

(3) 調査研究活動

- ・博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行う。
- ・博物館資料の保管及び展示等に関する技術的な研究を行う。

(4) 教育普及活動

- ・展示や博物館資料に関連した教育普及活動を行う。
- ・学校教育や社会教育の関係機関・団体との連携・協力に努める。
- ・サポーターとの協働活動を推進する。
- ・マイミュージアムギャラリーを運営し、個人などによって収集・所蔵されているコレクションを公開展示することにより、生涯学習の成果発表の場とするなど、県民文化の向上と交流を図る。

4 沿革

昭和46年 3月	岐阜県百年記念事業推進委員会において、博物館の建設を決定	10月	特別展「美濃の刀剣」入館者100万人を突破	平成 5年 3月	入館者150万人を突破
4月	教育委員会社会教育課に博物館準備担当を配置	12月	自然展示室2を改装	4月	特別展「土と炎の芸術」
6～9月	博物館懇談会を設ける	昭和61年 4月	特別展「徳山の四季とくらし」	9月	29日大型ほ乳類足跡化石を美濃加茂市で発掘
昭和47年 4月	博物館開設準備室を設置 展示委員会を設ける	7月	特別展「奥飛騨の自然」	10月	特別展「失われゆく植物」
昭和48年 8月	起上式举行	9月	人文展示室1を改装	11月	「ハイパーハイビジョン風土記」イメージシミュレーションソフトの完成
昭和49年 3月	展示実施計画樹立	10月	開館10周年記念式典を举行	平成 6年 1月	20日マイ・ミュージアム棟起工式
10月	定礎式	開館10周年記念展「ふるさとの祭り」		3月	大型ほ乳類足跡化石を展示
昭和50年 3月	展示工事着手	昭和62年 4月	特別展「飛騨の弥生時代」入館者110万人を突破	4月	特別展「川に生きる～水運と漁労～」
7月	本館建築竣工	7月	特別展「外国から侵入した生きものたち」	8月	恐竜の歯等荘川村で発見
昭和51年 1月	展示工事完了	10月	特別展「飛騨の匠」	9月	特別展「美濃山地の自然」
4月	岐阜県博物館条例公布 岐阜県博物館設置 展示資料等製作完了	昭和63年 1月	旧徳山村民家移築復元	10月	入館者160万人を突破
5月	開館記念式典举行 一般公開	4月	自然展示室1を改装	12月	ユタ州訪問（花フェスタ'95展示化石の借用、交流の推進）
「巨匠三人展」・「スポーツ栄光展」		特別展示室ショーケース改修		平成 7年 3月	マイ・ミュージアム棟工事の完成
7月	皇太子・同妃殿下行啓	7月	特別展「ふるさとの湿原」		ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行美濃路編」ソフト完成
8月	特別展「ふるさとの文楽」入館者10万人を突破	10月	中部未来博'88記念展「中山道～美濃十六宿～」	4月	特別展「岐阜の淡水魚」花フェスタ'95にユタ州恐竜化石を展示
10月	入館料徴収開始	平成元年 4月	特別展「濃飛の古墳時代」	7月	マイ・ミュージアム（マルチメディア情報センター）落成式典举行 一般公開
11月	特別展「熊谷守一展」	7月	特別展「ふるさとの野鳥」	8月	恐竜ゼミナールGIFU' 95開催
昭和52年 5月	特別展「日本伝統工芸秀作展」入館者20万人を突破	8月	16日恐竜足跡化石白川村で発見	10月	特別展「美濃・飛騨の古代史発掘～律令国家の時代～」
7月	特別展「郷土の化石展」	10月	特別展「移ろいゆく年中行事」		人定三百年記念「円空展」（名古屋市と共催）
11月	特別展「鉄斎」	11月	日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」4,000冊の寄贈を受ける	8月	県下第1号として「マルチメディア工房・ぎふ」開設
昭和53年 4月	入館者30万人を突破	平成 2年 4月	特別展「輪中と治水」	11月	円空シンポジウム「世界における円空」
7月	特別展「濃飛の甲冑」	7月	特別展「白山の自然」	平成 8年 4月	高校生常設展入館料無料化
10月	特別展「世界のコガネムシ」		恐竜足跡化石レプリカ除幕式	5月	入館者170万人を突破
昭和54年 4月	入館者40万人を突破		グリーンアドベンチャー標識設置（自然観察のこみち）	7月	開館20周年記念展「恐竜のふるさとユタ」
7月	特別展「濃飛の先史時代」		岐阜県博物館協議会に、「新しい時代・県民ニーズに対応できる博物館の在り方について」諮問	8月	アメリカ合衆国ユタ州ブリガムヤング大学付属地球科学博物館と友好提携調印式举行
10月	特別展「世界の貝」		入館者130万人を突破	10月	飛騨美濃合併120周年記念展「岐阜県の明治維新」
11月	特別展「濃飛の文人」		岐阜県博物館協議会から中間答申	11月	飛騨美濃合併120周年記念「文化講演会」
昭和55年 4月	「視覚障害者（触察）コーナー」開設	10月	特別展「濃飛の仏像」		講師 作家 阿川弘之氏 作家 山田智彦氏
5月	特別展「宝暦治水と薩摩藩」	12月	岐阜県博物館協議会から中間答申	平成 9年 3月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」
7月	入館者50万人を突破	平成 3年 3月	岐阜県博物館案内標識を設置	4月	中山道編ソフト完成
10月	特別展「化石の世界」	4月	特別展「ふるさとの木の文化」	9月	特別展「花と鳥のイリュージョン～江戸の学問と芸術～」
昭和56年 4月	特別展「養山山人」	7月	特別展「ふるさとの哺乳動物」	11月	入館者180万人を突破
5月	特別展「美濃の絵馬」	10月	置県120年・岐阜県鹿兒島姉妹県盟約20周年記念展「鹿兒島～その自然と歴史～」		棚橋賞受賞「岐阜県博物館「マイ・ミュージアム」～来るべき世紀の新しい博物館を目指して～」
7月	入館者60万人を突破	11月	入館者140万人を突破		財団法人日本博物館協会表彰
10月	特別展「御岳山は生きている」	平成 4年 3月	岐阜県博物館協議会から「新しい時代・県民ニーズに対応する博物館の在り方について」答申		
昭和57年 4月	特別展「ふるさとの美濃古陶」	4月	特別展「飛騨のあけぼの～交流する縄文・古代人～」		
7月	特別展「高賀山の信仰」	7月	特別展「恐竜王国・恐竜～謎とロマン～」		
10月	入館者70万人を突破	10月	特別展「近世に輝く濃飛の群像」		
昭和58年 4月	特別展「ふるさとの植物」	11月	小中学生常設展入館料無料化		
5月	特別展「東洋の貨幣」				
7月	特別展「岐阜県の考古遺物」				
10月	入館者80万人を突破				
昭和59年 4月	特別展「長良川」				
7月	特別展「郷土の生んだ先覚者」				
10月	特別展「濃飛の戦国武将」				
昭和60年 4月	特別展「ふるさとの昆虫」				
7月	入館者90万人を突破				
10月	学習ビデオスタジオコーナーを設置				
	特別展「濃飛の蘭学」				
	特別展「濃飛の縄文時代」				
	特別展「鉱物の世界」				

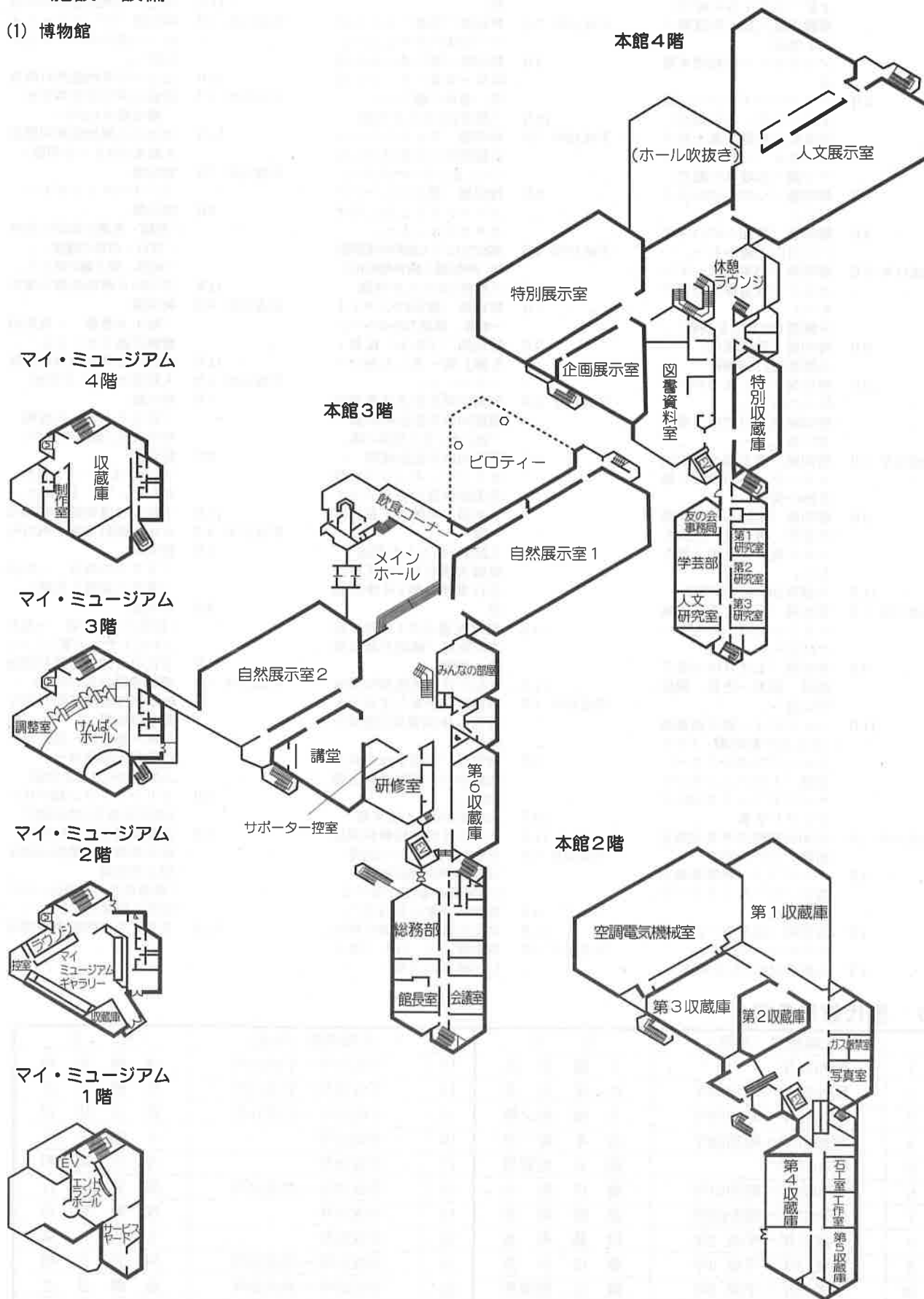
平成10年 3月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」飛騨街道・郡上街道編ソフト完成 アロサウルス骨格標本展示	10月	特別展「中山道街道400年」	10月	入館者260万人を突破
4月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」完成記念事業：風土記フォーラム「マルチメディアで調べる岐阜の魅力」	平成15年 7月	特別展「昭和くらしの歩み～30年代を中心に～」	平成22年 7月	文化の日博物館無料開放 特別展「川ーカワ・イイね！～流れがつくり出す自然～」
7月	特別展「つのつのかぶとむし」	9月	特別展「野の幸・山の幸、岐阜～発見！キノコと山菜、薬草の魅力～」	11月	文化の日博物館無料開放
9月	特別展「能面へのいざない～白山山麓から～」	10月	入館者220万人を突破	平成23年 9月	開館35周年記念特別展「濃尾震災120年」
平成11年 7月	特別展「恐竜時代～モンゴルと手取層群の恐竜たち～」	平成16年 7月	特別展「タイムトラベル 石器時代～大昔はどんなくらしをしていたの？～」	11月	文化の日博物館無料開放 入館者270万人を突破
9月	入館者190万人を突破 特別展「恐竜時代」 入館者4万人突破	9月	特別展「里山ミュージアム～ドングリころころオオカビゅーん～」	平成24年 7月	特別展「ジオペディアぎふ」
10月	特別展「水とまつり～古代人の祈り～」 特別陳列「円空展～魂を木に刻んで～」	平成17年 4月	高校生以下入館料年間無料化（特別展入館料無料化）	9月	特別展「飛騨・美濃の信仰と造形ー古代・中世の遺産ー」 「岐阜、染と織の匠たち」
平成12年 7月	特別展「海を越えた明治～ヨーロッパが愛した焼き物の美～」	5月	入館者230万人を突破	11月	文化の日博物館無料開放
9月	特別展「すばらしき東濃の自然、再発見～巨大ヒノキが見てきた生き物たち～」	7月	特別展「線路はつづくよ～岐阜、鉄道のあゆみ～」	平成25年 9月	特別展「弥生大集落ー荒尾南遺跡が語るモノと心ー」
11月	入館者200万人を突破	9月	特別展「『名水・温泉・名勝』展～水と大地のハーモニー～」	11月	文化の日博物館無料開放
平成13年 7月	特別展「あのころいた鳥～そういえばトキもおったげな～」	平成18年 4月	開館30周年記念式典挙行 開館30周年記念特別展「緑いきいき！岐阜の森」	平成26年 2月	入館者280万人を突破
9月	特別展「七代目団十郎と国貞、国芳～芝居、錦絵、中山道～」	5月	開館30周年記念植樹 モリゾー・キッコロ来館 全国植樹祭中濃サテライト会場～来館者全員招待入館～」	7月	特別展「奇なるものへの挑戦 明治大正/異端の科学」
11月	ハイビジョン静止画番組「石ころの動物園」(マイミュージアムギャラリー)全国ハイビジョン手づくりソフトフェスタ2001グランプリ受賞	8月	入館者240万人を突破 飛騨美濃合併130周年記念行事博物館1日無料開放	9月	特別展「里山いま昔一人と自然 あらたな“絆”を求めて」
平成14年 2月	NEDO共同研究事業太陽光発電システム完成	9月	飛騨美濃合併130周年記念特別展「錦絵が語る美濃と飛騨」	11月	文化の日博物館無料開放 百年公園駐車場を無料化
3月	バリアフリー対策事業小型モノレール（スロープカー）完成	11月	文化の日博物館無料開放 特別展「恐竜と生命の大進化～中国雲南5億年の旅～」	平成27年 4月	特別展「天下人の時代～信長・秀吉・家康と美濃～」
4月	特別展「温泉展～湯の華からのメッセージ」	平成19年 7月	文化の日博物館無料開放 特別展「発掘された日本列島2007～新発見考古速報展～」	9月	特別展「自然のくすり箱ー薬草とわたしたちの暮らし～」
5月	入館者210万人を突破	9月	特別展「骨のあるやつ」	11月	文化の日博物館無料開放 飛騨美濃合併140周年・岐阜県博物館開館40周年記念特別展 「新・恐竜学～鳥になった恐竜の脳科学～」
		10月	入館者250万人を突破	8月	カリコテリウム類の化石（国内初発見）特別展示
		11月	文化の日博物館無料開放	9月	飛騨美濃合併140周年・岐阜県博物館開館40周年記念特別展 「東海地方の円空仏～その造形と足跡をたどる～」
		平成20年 5月	日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」3,800冊の寄贈を受ける	11月	文化の日博物館無料開放
		9月	特別展「人、和して楽しむ～岐阜の文楽～」		

5 歴代館長名簿

	在職期間（年度）	氏 名		在職期間（年度）	氏 名
1	昭和51年	小 幡 忠 良	13	平成11年～平成12年	遠 藤 祐 神
2	昭和52年～昭和54年	松 尾 克 美	14	平成13年～平成14年	高 橋 宏 之
3	昭和55年～昭和56年	大 橋 桃之輔	15	平成15年～平成16年	武 山 栢 司
4	昭和57年～昭和58年	吉 本 幹 彦	16	平成17年	下 畑 五 夫
5	昭和59年	関 谷 美智男	17	平成18年	古 川 和 明
6	昭和60年～昭和61年	廣 田 照 夫	18	平成19年～平成20年	高 屋 一 行
7	昭和62年～昭和63年	森 崎 利 光	19	平成21年	浅 野 裕 司
8	平成元年～平成 2年	伊 藤 秀 幸	20	平成22年	石 田 克
9	平成 3年～平成 4年	篠 田 幸 男	21	平成23年～平成24年	河 合 正 明
10	平成 5年～平成 6年	横 山 勢津男	22	平成25年～平成26年	後 藤 弘 之
11	平成 7年～平成 8年	清 水 廣 美	23	平成27年	杉 原 茂 男
12	平成 9年～平成10年	高 田 晃	24	平成28年	水 谷 淳 子

6 施設・設備

(1) 博物館



主要室（名称及び面積）

本館	室名	面積 (㎡)	マイ・ミュージアム	室名	面積 (㎡)
1階	第1収蔵庫	314.1	1階	エントランスホール	76.0
	第2収蔵庫	126.0			
	第3収蔵庫	192.0	2階	マイミュージアムギャラリー 収蔵庫室	202.3 25.3 18.5
	第4収蔵庫	99.4			
	第5収蔵庫	55.0			
2階	自然展示室1	583.8	3階	けんぱくホール室	192.3 47.0
	自然展示室2	478.8			
	みんなの部屋	95.4	4階	収蔵庫等	281.3
	講堂	174.5			
	研修室	93.2			
	第6収蔵庫	142.8			
3階	人文展示室	942.3	マイ・ミュージアム棟合計		842.7
	特別展示室	478.8			
	企画展示室	193.2			
	図書資料室	232.2			
	特別収蔵庫	142.8			
本館合計		4,344.3			

(2) 館外施設

①自然観察のこみち

館内における“郷土の自然”の展示に対応し自然環境の中に生きた展示として、季節とともに移り変わる自然のすがたを観察できるようにしたこみちである。

全長約830mで、途中見晴らし台が2か所、ツツジの群生地、百草園、マンサクの林、休憩所などが設けられている。

なお、樹林の特徴などが学習できるようグリーンアドベンチャー常設コースとして、樹木にQ&Aパネルを設置している。

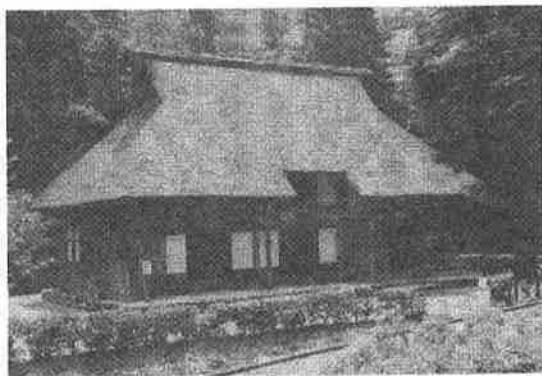


自然観察のこみち

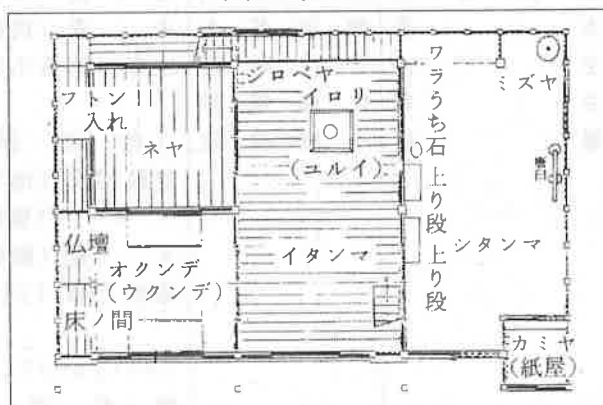
②旧徳山村民家

徳山ダム建設に伴って、徳山村は閉村となり、藤橋村を経て揖斐川町になったが、徳山の生活を後世に語り継ぐため、徳山村戸入在住（当時）の宮川澄雄さんから家屋の提供を受け、昭和62年10月7日、移築復元を完了したもので、生活用具なども展示している。なお、平成13年9月、茅葺屋根の一部葺き替えを実施した。また、平成26年8月の大雨で破損した屋根の一部を10月に修繕した。なお平成27年7月以降、耐震面から立ち入り観覧と古民家を利用した催事を休止した。

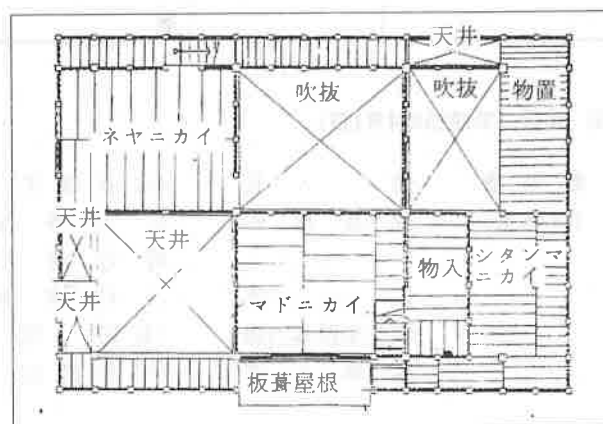
- ・様式：木造かやぶき2階建、南平入り
- ・主材：ブナ、トチ
- ・建面積：120.97㎡
- ・延面積：197.48㎡
- ・間取り：右図参照
- ・建築年代：幕末から明治初年ごろと推定
- ・屋根：入母屋、切り落とし窓つき



旧徳山村民家



▲ 1階間取り図

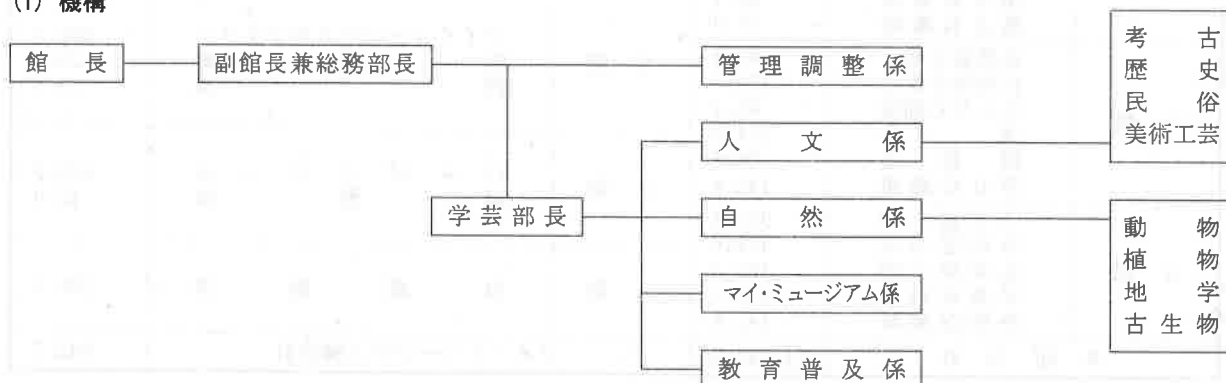


▲ 2階間取り図

Ⅱ 平成29年度の組織・体制

1 職員

(1) 機構



(2) 職員名簿

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	中島 守	【学芸部】			
副館長兼総務部長	小野 精三	学芸部長	高屋 嘉文	[教育普及係]	
【総務部】		[人文係]		課長補佐	児山 耕生
[管理調整係]		課長補佐(歴史)	山田 昭彦	主査	吉田 泰久
課長補佐	岡田 秀利	主査(考古)	近藤 大典	学芸業務専門職	井上 好章
主査	柴田 英夫	主査(民俗)	南本 有紀	〃	橋本 清
主任	日比野 新	主査(美術工芸)	守屋 靖裕	〃	池田 詩苑
主事	佐藤 里歩	[自然係]		管理業務専門職	阿部 奈津希
主雇	小野 真紀	課長補佐(地学)	松本 正樹	〃	坪井 宏美
		〃(植物)	可児 美紀	〃	長田 麻友子
		主査(動物)	説田 健一	〃	渡邊 和司
		臨時主事(古生物)	高津 翔平	〃	加藤 章
		[マイ・ミュージアム係]		〃	福島 江里菜
		課長補佐	加藤 信男		
		主査	竹中 初男		
		主雇	益田 豊子		

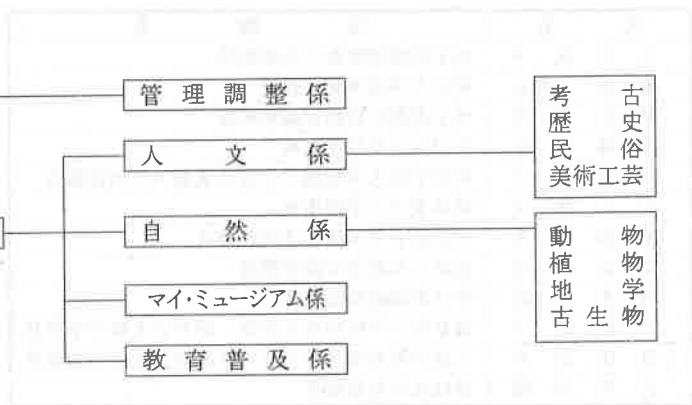
(3) 異動(平成29年4月1日)

転出者	館長	(水谷 淳子)	転入者	館長	中島 守
(退職者)	課長補佐	戸本 博志		課長補佐	岡田 秀利
	〃	河合 清太		主査	吉田 泰久
	主査	二村 博樹		主任	日比野 新
	学芸業務専門職	(石田 克)		臨時主事	高津 翔平
	臨事主事	(服部 創紀)		学芸業務専門職	橋本 清
				主雇	小野 真紀

2 展示活動

展 示 名	期 間	展 示 内 容
常設展	年 間	人文展示室では、「郷土のあゆみ」を主題とし、先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示する。特別展示室または企画展示室においては、「郷土の民俗と美術工芸」を主題とし、特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示する。自然展示室1では、「郷土の自然と私たち」を主題とし、郷土の自然の概要を系統的に展示する。自然展示室2では、「郷土のさまざまな自然」を主題とし、特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示する。
企画展 「関ヶ原 ～天下分け目の合戦と美濃～」	4/22 (土) ～6/25 (日)	天下分け目の戦い「関ヶ原合戦」は、慶長5年(1600年)に関ヶ原の地で戦われ、一日で決着した。しかし、その直前、美濃の地は岐阜城合戦(岐阜城城主織田秀信)をはじめとして天下の行方を決定付ける上で大きな役割を果たした。本企画展では、決戦に至る過程や推移について、県内外に伝わる一流の資料を中心に武将の息遣いなども感じ取っていただくなかで、美濃との関わりを紹介する。
特別展 「生きている大地 ～地質図が語るぎふの大地～」	7/7(金) ～9/3(日)	私たちの住む大地は、数億年前から続くプレートの衝突による地殻変動等で姿を変化させてきた。地質図とは、この活動で造られた岩石や地層等、大地の姿を映し出したもので、科学者の知の結晶であるともいえる。本特別展では、この地質図をはじめ、岩石・鉱物・化石、高校生制作のデジタル作品などを用いて、岐阜の大地の姿をひも解く。
博物館・図書館連携企画展 【岐阜県図書館にて開催】 「東西激突! The 関ヶ原 ～関ヶ原合戦と岐阜城合戦～」	7/21(金)～ 9/18(月・祝)	慶長5年美濃・関ヶ原で繰り広げられた天下分け目の戦い「関ヶ原合戦」(1600年)、合戦自体は僅か一日だったが、その後200年以上に及ぶ日本の国制を決定づけた大一番だった。この戦いにおいて美濃の地が果たした役割を、その前哨戦として重要な位置を占める岐阜城合戦を含め考察するとともに、この合戦が岐阜の人々にいかに語り継がれたかを、各地に伝わる資料により紹介する。
移動展 【飛騨高山まちの博物館にて開催】 「見つめる目 写真家の見た飛騨 美濃 ～細江光洋の飛騨・増山たづ子の徳山・後藤英夫の円空～」	7/21(金)～ 9/18(月・祝)	昭和半ばから平成までの飛騨をそこで生きる住民の目線で撮り続けた細江光洋、ダムに全村水没する故郷を、出征して帰らぬ夫に見せるために撮影記録した増山たづ子、そして、強烈な陰影の円空仏写真で知られた後藤英夫。郷土を代表する3人の写真家が見つめ続けた岐阜県の文化と風土をその作品を通して紹介する。
特別展 「壬申の乱の時代ー美濃国・飛騨国の誕生に迫る」	9/15(金) ～11/19(日)	古代史上最大の内乱、壬申の乱(672年)において美濃の地と人々は、その内乱の行方に大きな役割を果たした。一方、内乱が起こった飛鳥時代は、美濃・飛騨地方の原形「美濃国」「飛騨国」が明確に姿を現した時代でもある。本特別展では美濃が大きな存在感を示した壬申の乱を紹介するとともに、県内を代表する古墳時代から奈良時代の遺跡の出土品を中心とする関連資料をもとに「美濃国」「飛騨国」の誕生に迫る。
企画展 「命輝く清流長良川 ～清流とともに移りゆく植物～」	11/25(土) ～2/25(日)	大日岳(標高約1700m)を源流とする岐阜県が誇る清流長良川。そこには豊かな自然が四季折々に命を輝かせる。1500mを超える上流域(垂高山帯)の貴重な草花の数々や、岐阜市周辺の中流域における金華山の名の由来をもつ黄金色に輝く照葉樹林の特徴的な植物相まで、本企画展では、標高差の大きい本県ならではの豊富な植物の数々を紹介する。
マイミュージアムギャラリー 第1回展示 「日本刀押形展 ～幽玄美へのいざない～」	4/22 (土) ～6/18 (日)	日本美術刀剣保存協会岐阜県支部(支部長:近藤 邦治/岐阜市在住)は、刀剣文化の研究を行っている団体で、平成29年度に創立60周年を迎える。これを記念して「日本刀押形展」をマイミュージアムギャラリーにて開催する。「刀剣押形」は刀剣類を紙に写し取ったもので、写真では捉えきれない刃中の景色や変化が一目で分かるように精確に描写したものである。本来押形は刀剣研究を目的とした記録資料であるが、本展ではこれを鑑賞用に構成し、刀剣の魅力を伝える新たな表現手法としている。今回は、刀剣押形約40点とその対象となった刀剣約10振のほか、最古の刀剣押形『往昔抄(復刻)』などの関連資料を展示する。
マイミュージアムギャラリー 第2回展示 「太古の海から氷河期の森まで 4億年 ～新川コレクション 美濃飛騨とその周辺の化石・鉱物展～」	7/ 1 (土) ～8/27 (日)	新川教さんは、道路工事や鉱山などの開発で失われていく化石や鉱物を見て保存を思い立ち、50年間で収集した標本は1万点を超えた。今回の展示では、古生代の奥飛騨「太古の珊瑚礁」から新生代の伊吹山麓「氷河期の森」まで、変化に富む郷土のすばらしい地質4億年の変遷を、岐阜県と隣接県を比較しながら、約25産地・300点の美しい化石や鉱物で、子どもから大人まで楽しむことができるよう紹介する。
マイミュージアムギャラリー 第3回展示 「熱虫! 昭和アニメ・漫画コレクション ～大切なものは変わらない～」	9/ 9 (土) ～10/29 (日)	鉄腕アトムをはじめ、ジャングル大帝、リボンの騎士、火の鳥、ブラックジャックなど多くの漫画を生涯描き続けた「漫画の神様」手塚治虫。林さんが物心ついた頃にテレビで「鉄腕アトム」が放送され、本はもちろん文房具、お菓子、ゲーム、食器、服、カバンなどの多くのグッズに鉄腕アトムが使われるようになった。年月が経過し偶然押入れの奥を覗くと、当時の鉄腕アトムが掲載された本がよれよれの状態で出てきた。懐かしさと感動でいろいろな思い出が甦った。家族に手塚作品を説明するうちに、その作品の多さとストーリー、絵のタッチに魅了され、いつしかグッズの収集に引き込まれていった。今回は、これまでに収集したコレクションの中から、虫プロ時代のグッズ1,000点余を展示する。

展 示 名	期 間	展 示 内 容
マイミュージアムギャラリー 第4回展示 《齋藤美術館 移動展》 「郡上ゆかりの茶道具コレクション」	11/11 (土) ～12/28 (木)	郡上市の旧家齋藤家は江戸時代から270年余りにわたって茶道をたしなみ、茶人として代々の当主が書画・茶道具を蒐集してきた。昭和62年に開館した齋藤美術館では、これまでに蒐集された美術工芸品を展示している。今回は齋藤美術館が収蔵するコレクションの中から、名古屋の茶道の一派である松尾流の松尾半古斎による掛け軸をはじめ、茶碗や茶入れ、簀などの茶道具中心に展示し、郡上の旧家がどのように京都や名古屋の茶道の家元と交流をもち、小京都とも呼ばれる文化を形成したのかを紹介する。
マイミュージアムギャラリー 第5回展示 「ミニチュア古民家模型と建具展 ～神代杉を使った芸術作品～」	2/ 3 (土) ～ 3/21 (水・祝)	神代杉は水中や土中、火山灰に長く埋もれていた杉材で、暗灰色や淡黒色など独特に木目や風合いを持つことで知られ、工芸品や日本建築に用いられている。可児市在住の肥田さんは建具職人として長年活躍され、引退後は建具の製作で身につけた技術を使って、神代杉を用いた合掌造りや古民家、花入などを趣味として制作している。今回は、これまでに制作した神代杉による作品50点余のほか、建具職人時代に製作した建具10点余を展示する。
U-18ミュージアム by 岐阜各務野高校・岐阜総合学園高校 ～高校生によるデジタルアート展～	1/13 (土) ～1/26 (金)	岐阜県立岐阜各務野高校と岐阜県立岐阜総合学園高校の生徒が制作したいろいろなアプリや、楽しく体験できるデジタル作品、世の中で実際に活用されたガスターなど、各種デジタルアート作品を展示する。



職 名 (担当)	氏 名	職 名 (担当)	氏 名	職 名 (担当)	氏 名
館 長	水 谷 淳 子 (~28. 6. 30)	【 学 芸 部 】			
副館長兼総務部長	岩 崎 正 人 (28. 7. 1~)	学 芸 部 長	高 屋 嘉 文		
〃	小 野 精 三	[人 文 係]		[教 育 普 及 係]	
【 総 務 部 】		課 長 補 佐 (歴 史)	山 田 昭 彦	課 長 補 佐	河 合 清 太
[管 理 調 整 係]		主 査 (考 古)	近 藤 大 典	〃	児 山 耕 生
課 長 補 佐	戸 本 博 志	主 査 (民 俗)	南 本 有 紀	学 芸 業 務 専 門 職	石 井 克
主 査	柴 田 英 夫	主 査 (美 術 工 芸)	守 屋 靖 裕	〃	田 上 好 章
主 事	二 村 博 樹			〃	池 田 詩 苑
管 理 業 務 専 門 職	佐 藤 里 歩	[自 然 係]			
〃	阿 部 奈 津 希	課 長 補 佐 (地 学)	松 本 正 樹		
〃	坪 井 宏 美	〃 (植 物)	可 児 美 紀		
〃	長 田 麻 友 子	主 査 (動 物)	説 田 健 一		
〃	渡 邊 和 司 (~28. 5. 31)	臨 時 主 事 (古 生 物)	服 部 創 紀		
〃	福 島 江 里 菜 (~29. 1. 31)	[マイ ・ ミュージアム 係]			
〃	堀 奈 葵 穂	課 長 補 佐	加 藤 信 男		
〃	(28. 6. 1~)				
〃	加 藤 章	学 芸 主 事	竹 中 初 男		
〃	(29. 2. 1~)				
〃	福 島 江 里 菜 (~28. 6. 30)				
雇 員	瀨 瀨 泰 子 (28. 7. 1~)				
〃	益 田 豊 子				

館副學課 館長 芸部補 主事 主管理業務專門職 學芸業務專門職	長長長佐 任事 專門職	(杉高岡山西松大(河米中(巽 原木田田谷戸井野部倉嶋成 茂男)等孝宏徹智治美(壯一郎)子美)生)	転入者	館副學課 館長 芸部補 主事 主管理業務專門職 學芸業務專門職	長長長佐 事 專門職	水岩高戸松可児佐服長渡井 谷崎屋本本兒山藤部田邊上 淳正嘉博正美耕里創麻和好 子人文志樹紀生歩紀子司章
--	-------------------	--	-----	--	------------------	--

2 岐阜県博物館協議会

岐阜県博物館協議会は、博物館法及び岐阜県博物館条例に基づいて設置されている機関で、岐阜県博物館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。委員は次のとおりである。

氏 名	現 職 名
小 川 鈺 子	岐阜県博物館友の会副会長
亀 谷 みゆき	朝日大学法学部准教授
桐 山 圭 司	岐阜新聞社取締役編集局長
重 森 万 紀	NHK岐阜放送局長
清 水 優 子	中部学院大学短期大学部付属桐が丘幼稚園長
杉 山 博 文	岐阜女子大学理事長
須 田 絵 美	岐阜県PTA連合会母親委員
須 山 知 香	岐阜大学教育学部准教授
竹 花 孝 則	中日新聞岐阜支社長
日 置 絹 子	岐阜県小中学校長会会員、関市立金竜小学校校長
◎日 比 治 男	元岐阜県教育長、元岐阜県教育文化財団理事長
古 川 秀 昭	前岐阜県美術館長

◎会長 (平成28年11月15日現在 五十音別・敬称略)
任期は平成28年9月24日から平成30年9月23日

(開催状況)

月 日 平成28年11月15日(火)

場 所 岐阜県博物館 講 堂

議 題

○次第

(1)岐阜県博物館の現状と実績について

(2)議題：開館40周年を迎えた博物館の今後の展開について

(3)その他(報告事項)：平成28年度の特別展・企画展計画について

○主な提案・意見

- ・「教員のための博物館の日」に関すること
- ・学校(幼稚園・保育園含む)利用の推進に関すること
- ・施設の名称(ハイビジョンホール)に関すること
- ・総合博物館としての在り方と館の特徴に関すること
- ・博物館周辺の環境整備に関すること
- ・百年公園利用者に対する展覧会の広報に関すること
- ・博物館収蔵資料が日本初の「カリコテリウム類」化石の発見につながったことのPRに関すること

3 日誌抄

4. 1 人事異動に伴う辞令交付
- 9 MMG展示《故玩館 移動展》「美術工芸品で味わう能文化～故玩館 骨董・アンティークコレクション～」(～5/8)
- 9 学芸員と学ぶ百年公園のチョウ
- 13 岐阜県博物館移動展「ひだの自然」(～6/12)
- 23 企画展「伝統と創造 岐阜県重要無形文化財のわざと美」(～6/19)
- 23 岐阜県博物館移動展シンポジウム「ひだの自然の魅力を伝えよう」
- 24 開館40周年記念講演会「極限世界から宇宙生命の可能性を探る」
- 29 アンモナイトを調べよう
- 30 岐阜県博物館移動展ワークショップ「鹿角ストラップをつくろう」
5. 1 マイミュージアムギャラリー関連催し物「音で味わう能～能楽師による演奏とトーク～」
- 1 学芸員と学ぶ百年公園の植物
- 3 竹で機關車笛をつくろう
- 5 かざり結びでストラップをつくろう
- 7 古文書読解講座①「戦国大名の文書を読み解く」
- 14 開館40周年記念講演会「地中深くから観る宇宙～ニュートリノから暗黒物質の正体に迫る～」
- 15 岐阜県博物館移動展ワークショップ「水島ジオード割り」
- 21 MMG展示「メダルコレクション～戦前・戦中の彫刻家たち～」(～6/19)
- 21 スプリングフェスティバル けんぱくワークショップ
- 22 スプリングフェスティバル けんぱくワークショップ
- 28 博物館学芸講座「守護所から岐阜城へ～土岐・斎藤・織田の館と城～」
- 29 企画展講演会「美濃桃山陶と無形文化財」
6. 4 工房見学(郡上本染)
- 11 博物館学芸講座「能の幽霊 世阿弥の作劇法と「幽霊」の造形」
- 18 古文書読解講座②「戦国大名の文書を読み解く」
- 19 「和とじ」を使って昔のノートをつくろう
- 19 開館40周年記念講演会「小惑星探査機「はやぶさ2」が探る太陽系の謎～小惑星に水と生命の起源を求めて～」
- 25 岐阜県博物館移動展「弥生から古墳へ～可児・加茂地域の墳墓と集落～」(～8/21)
- 25 古生物のひみつをさぐる～バックヤードツアーと三葉虫/ジュエル割り～
7. 2 MMG展示「パッチワークキルト展～夫婦で歩んだ30年～」(～7/24)
- 8 特別展「新・恐竜学～島になった恐竜の脳科学～」(～9/4)
- 16 開館40周年記念特別展講演会「手取層群の恐竜たち」
- 18 移動展講演会「古墳時代へ～可児・加茂地域の遺跡から～」
- 18 マイミュージアムギャラリー関連催し物「和柄木綿のパッチワーク小物入れ作り」
- 23 博物館学芸講座「関ヶ原合戦と美濃の諸将」
- 23 マイミュージアムギャラリー関連催し物「和柄木綿のパッチワーク小物入れ作り」
- 24 岐阜県博物館移動展ワークショップ「まが玉をつくろう」
- 30 開館40周年記念特別展ワークショップ「恐竜を描こう」
- 30 ナイトミュージアム
8. 6 MMG展示「鉄道グッズコレクション～マニアが蒐集した記念グッズと旅の思い出～」(～9/4)
- 6 開館40周年記念特別展ワークショップ「恐竜をつくろう」
- 7 開館40周年記念講演会「スプーン1杯の土が人類を救う～微生物の力を借りて薬を創る～」
- 9 教員のための博物館の日
- 14 切り折り紙で動物や恐竜をつくろう
- 18 教員のための博物館の日
- 20 博物館学芸講座「恐竜の脳科学～脳から探る恐竜の進化～」
- 21 まゆ玉で「かわいい動物たち」をつくろう
- 27 開館40周年記念特別展講演会「鳥類学者無謀にも恐竜を語る」
- 28 マイミュージアムギャラリー関連催し物「昭和鉄道物語～東海地方の鉄道をめぐって～」
9. 3 サイエンスマジックショーⅡ～超低温の世界～
- 10 博物館学芸講座「木簡から見た美濃国諸郡の成立」
- 11 古文書読解講座③「戦国大名の文書を読み解く」
- 17 MMG展示「百穂きもの作品展～布の縁を紡いで～」(～10/16)
- 23 特別展「東海地方の円空仏～その造形と足跡をたどる～」(～11/20)
- 24 博物館学芸講座「恐竜やデスモスチルスの姿勢を復元してみよう」
- 25 開館40周年記念特別展講演会「円空の作仏～日本美術の周辺故のオリジナリティ～」
10. 2 山県市ふるさと栗まつり2016 けんぱくワークショップ
- 8 関ヶ原合戦の地を歩く
- 15 学芸員と訪ねる羽鳥の円空仏(中観音堂・長閑楽師寺)
- 16 三重県総合博物館(MieMu)交流企画「100年ではこれだけ変わる!」
- 22 開館40周年記念講演会「岐阜しずいプロジェクト～捨てられる歯から作るIPS細胞を世界に届けるために～」
- 22 オータムフェスティバル けんぱくワークショップ
- 23 開館40周年記念特別展講演会「円空と日本の風土」
- 23 オータムフェスティバル けんぱくワークショップ
- 29 MMG展示「能面展～平家物語への誘い～」(～11/27)
11. 3 県民文化の日(無料開放日)けんぱくワークショップ
- 3 三重県総合博物館(MieMu)交流企画 体験ワークショップ「自然をモチーフとした工作体験」
- 5 徳山のくらし体験 地獄うどんを食べよう
- 6 三重県総合博物館(MieMu)交流企画「藤堂高虎の家臣団形成と領国経営～関ヶ原合戦以降を中心に～」
- 12 博物館学芸講座「円空仏にみる古仏からの影響～革新的造形の中に隠れた伝統的造形を探る～」
- 13 ジオサイトめぐりin岐阜Ⅱ「東濃編」
- 19 ぎふサイエンスフェスティバル2016 けんぱくワークショップ
- 20 博物館学芸講座「大坂の陣と美濃」
- 23 学芸員と見学する美濃金山城の山城遺構
- 26 企画展「あなたが知らない鳥の世界」(～1/29)
- 26 日本刀鑑賞講座
- 27 sekiいききフェスタ けんぱくワークショップ
12. 3 博物館学芸講座「美濃の城～戦国の城から織田・豊臣の城へ～」
- 4 企画展ワークショップ「ニワトリの頭骨標本をつくろう」
- 6 U-18ミュージアム by 市岐商～市岐商デパートと学校創立50年のあゆみ～(～12/17)
- 10 クリスタルのひみつ～水晶ジオード割り体験～
- 17 博物館学芸講座「旅するアカコッコ～鳥類学黎明期の豪商コレクターの生き様～」
- 20 U-18ミュージアム by 岐阜各務野高校～来て・見て・触れる デジタル作品～(～1/7)
1. 7 七草がゆを食べよう
- 7 ちよっと昔の正月遊びを体験しよう
- 14 学芸員と学ぶ百年公園の冬鳥(降雪のため中止)
- 14 MMG展示「昔のあかりコレクション～あかりを生み出す道具たち～」(～2/5)
- 22 仏像講座①「仏像入門」
2. 11 企画展「古生物の復元画～小田 隆の世界～」(～4/9)
- 12 岐阜県の無形民俗文化財講座 学芸員と見学する「今尾の左義長」(降雪のため見学会中止)
- 18 MMG展示「松井屋酒造資料館 移動展」「昔の酒造道具と懐かしの道具コレクション」(～3/20)
- 18 古代武蔵郡の歴史を学ぶⅡ
- 25 博物館学芸講座「ホネからはじまる恐竜の復元～アーティストと科学者との共演～」
- 26 仏像講座②「仏像の銘文をくずし字から読み解こう」
3. 25 博物館学芸講座「再発見! 恵那山の地質」

4 実施事業の概要

「県民の皆様が岐阜県の自然や歴史・文化に親しみ、誇りをもつことができる博物館」を平成28年度の運営目標として、「岐阜県博物館開館40周年事業」として特別展などの企画展、移動展、マイミュージアムギャラリー展示を開催した。その他、40周年記念特別講演会など各種講演会・講座、参加体験型の教育普及事業として27回の催し物、学芸員による9回の出前授業や20回の講師派遣など多くの事業を展開した。特に特別展「新・恐竜学～鳥になった恐竜の脳科学～」、「東海地方の円空仏～その造形と足跡をたどる～」の2本を行い、例年以上に全国各地から多くの方々にご覧いただいた。

(1) 展示活動

特別展・企画展、移動展、マイミュージアムギャラリーの展示を下表のとおり実施した。

(2) 調査研究活動

人文分野では、平成29年度の特別展に関連した壬申の乱と美濃飛騨関連の資料をはじめとして県内外資料の調査を行った。自然分野では、百年公園の里山の動植物生態調査（モニタリング1000）、県内植物分布調査、平成29年度「生きている大地」に向けた調査などを行った。

マイ・ミュージアムでは、当館収蔵品と図書館の蔵書のデータベースの構築を行った。また、マイミュージアムギャラリー出展作品の調査研究や出展者の新規開拓を行った。

(3) 資料収集活動

人文分野では、県内各地で資料の所在調査を実施した。自然分野では、県内外の古生物、岩石鉱物資料及び、恐竜の脳モデル、透明頭骨標本を資料として加えた。

(4) 教育普及活動

国立科学博物館が提唱する「教員のための博物館の日」を8月に初めて実施し、参加者から好評を得た。

わくわく体験コーナーでは、恐竜や古生物関連の企画展を観覧した方が、化石取り出し体験等の体験にも数多く参加したことから、1,139名の利用があった。

団体等の利用では、学校向けの生活科・社会科・理科の学習プログラムの利用が多かった。「秋みつけ」などの学習プログラムの実施に博物館サポーターの支援を得て、充実した学びを提供した。

博物館サポーターの活動では、80名が登録し、活動内容にあわせて11の活動グループを設け、希望するグループに所属して活動を行った。

5 展示活動

展 示 名	期 間	展 示 内 容	入館者数
常設展	年 間	人文関係では、人文展示室1及び2の可変展示コーナーや独立ケースの展示替えを行った。昭和の居間再現コーナーでは季節感を出す展示替えに努めた。また、人文展示室1を中心としてミニ企画展示を実施した。自然関係では、カリコテリウムの化石展示やミニ企画コーナーなどを中心に展示替えを行った。	—
企画展 「伝統と創造 岐阜県重要無形文化財のわざと美」	4/23（土） ～6/19（日）	「岐阜県重要無形文化財」に指定された陶芸分野の「志野」「織部」「黄瀬戸」、染織分野の「郡上本染」の各保持者、及び金工分野の「美濃伝日本刀鍛錬技法」の保持団体のわざと作品を一堂に紹介した。岐阜県が誇る伝統工芸技術のわざへの理解を深めるとともに、その結晶である作品の美を堪能いただく機会となった。	7,477
特別展 「新・恐竜学 ～鳥になった恐竜の脳科学～」	7/8（金） ～9/4（日）	多くの恐竜が、どのように生まれ、進化していったのかを時系列に沿って紹介した。数多くの恐竜の全身骨格とともに、3Dプリンターを用いて内部構造が見えるようにした透明な頭骨なども展示した。これらの岐阜県博物館オリジナル資料などを通して、近年の研究で明らかになってきた恐竜の脳の形や鳥類に進化するなかでの脳の変化を明らかにした。	17,804
特別展 「東海地方の円空仏 ～その造形と足跡をたどる～」	9/23（金） ～11/20（日）	円空仏が集中して現存する東海地方に焦点を当て、総数80点を超える貴重な円空仏や円空が描いた希少な絵画を展示した。展示を通して、それぞれの地域で円空がどのような足跡を残していったのかを紹介した。東海3県の円空仏が一堂に会するまたとない機会となった。	11,374
企画展 「あなたが知らない鳥の世界」	11/26（土） ～平成29年 1/29（日）	絶海の孤島から高層ビルが林立する大都会まで地球のあらゆる場所に進出し、繁栄した鳥類の標本を総数約450点展示した。中部地方で最大の鳥類コレクションを所蔵する当館の展示を中心に膨大な鳥類標本から、体のつくりや生態を紹介することで、私たちの生活とのかかわりを考える機会となった。	4,216
企画展 「古生物の復元画」	平成29年2/11 （土・祝） ～4/9（日）	この企画展では、日本を代表する恐竜復元画家の小田隆氏の手による復元画作品を中心に展示した。恐竜などの復元画を科学的に仕上げていく過程を紹介しながら、6600万年前に絶滅した恐竜たちの当時の姿を生態とともに紹介した。	6,514
岐阜県博物館移動展 「ひだの自然」	4/13（水） ～6/12（日）	飛騨地方には、日本最古の化石や恐竜化石など、全国的に有名な地学事象も数多く存在している。この移動展では、飛騨高山まちの博物館にて福地の化石やライチョウなど高山帯に生息する動植物の標本を展示し、岐阜県の飛騨地方を象徴する自然を紹介した。	41,896
岐阜県博物館移動展 「弥生から古墳へ ～可児・加茂地域の墳墓と集落～」	6/25（土） ～8/21（日）	この移動展では、墳墓群の金ヶ崎遺跡（御嵩町）、県内最古の前方後円墳である夕田茶臼山古墳（県史跡 富加町）、集落遺跡の顔戸南遺跡（御嵩町）や東野遺跡（坂祝町）における近年の発掘調査事例から、弥生時代から古墳時代へ移行する時期の可児・加茂地域の状況を明らかにした。	2,593
飛騨美濃合併特別展 「岐阜県誕生ー清流の国ぎふの源流を訪ねてー」	7/12（火） ～8/28（日）	明治9年（1876）に飛騨と美濃が合併してから140年を迎えるのを記念して、県図書館において、飛騨美濃合併特別展「岐阜県誕生」を開催した。飛騨、美濃の誕生から、合併し、岐阜県が誕生していくまでの歴史を、「川」に視点を当てて紹介した。	6,618
マイミュージアムギャラリー	(p15参照)	「美術工芸品で味わう能文化」をはじめ、8回の展示、2回のU-18ミュージアムを実施した。	—

企画展 伝統と創造 岐阜県重要無形文化財のわざと美

1 開催期間

平成28年4月23日（土）～平成28年6月19日（日）

2 主催

岐阜県博物館

3 趣旨

県では文化財保護条例において「岐阜県重要無形文化財」の指定と保持者・保持団体の認定、及び保護の措置について規定している。これにより現在指定されているわざは、陶芸分野の「志野」「織部」「黄瀬戸（きぜと）」、染織分野の「郡上本染」、そして金工分野の「美濃伝日本刀鍛錬技法」である。

本展では、「志野」3人、「織部」「黄瀬戸」「郡上本染」各1人、計6人の保持者、及び「美濃伝日本刀鍛錬技法」の保持団体のわざとその結晶といえる作品を一堂に展示し、岐阜の重要無形文化財の今を紹介した。



↑ 展示会場のようす

4 展示構成

(1)～(5)の各重要無形文化財指定技法について、下記の出展作家（重要無形文化財保持者・保持団体）の作品を展示した。

(1) 志野

加藤孝造（かとう・こうぞう）（1935-）／平成7年認定
桃山茶陶を再興した昭和の巨匠・荒川豊蔵（志野・瀬戸黒の人間国宝＝国重要無形文化財保持者）に師事。
志野・瀬戸黒・黄瀬戸の第一人者で、瀬戸黒の国重要無形文化財保持者（人間国宝）。師譲りの穴窯焼成による伝統的な製法にこだわりながら、独自の作風を展開。

若尾利貞（わかお・としさだ）（1933-）／平成15年認定
同年代の鈴木蔵（志野の人間国宝）・加藤孝造（瀬戸黒の人間国宝）と並び称される美濃焼の実力作家。琳派風の洒落な図柄を施した精緻な鼠志野で知られる。
林正太郎（はやし・しょうたろう）（1947-）／平成24年認定
力強い造形と大胆な釉薬づかいの実力作家。数種類の木灰を掛け合わせ複雑な釉調を醸し出す灰釉の一種、「万葉志野」は独自の技法。

(2) 織部

玉置保夫（たまおき・やすお）（1941-）／平成20年認定
長石釉の掛け分けと蠟抜（マスキング）で複雑な模様を描き出す赤志野や、抽象画のような軽快洒脱な色づかいと模様の「今織部」など、従来の桃山陶に見られないモダンな色・文様の独自の作風で注目される。

(3) 黄瀬戸

安藤日出武（あんどう・ひでたけ）（1938-）／平成15年認定
桃山陶と同じ原料・製法にこだわる美濃焼の代表作家。穴窯特有の灰被や火のあたりによる黄瀬戸や、穴窯ならではの徐冷による緋色の発色が美しい志野で知られる。

(4) 郡上本染

渡辺庄吉（わたなべ・しょうきち）（1935-）／昭和52年認定
400年以上の歴史を持つ紺屋の後継者として、天然藍を用いた本藍建てによる藍染めと大豆汁を使用した模様染めであるカチン染めを継承。伝統的な図柄をもとにした作風。

(5) 美濃伝日本刀鍛錬技法

美濃伝日本刀鍛錬技法保持者会／平成9年認定

構成員は、後藤良三（ごとう・りょうぞう／28代兼成）（1926-）、加藤孝雄（かとう・たかお／24代藤原兼房）（1922-2013）、大野正巳（おおの・まさみ／兼正）（1923-2008）、金子孫六（かねこ・まごろく／27代兼元）（1924-2008）、小島寛二（こじま・かんじ／兼時）（1925-2004）、尾川邦彦（おがわ・くにひこ／兼図）（1925-2012）の6人。

「関の孫六」の直系・金子孫六や自家製鉄を用いた大野正巳、華麗な瀟灑刃（刃文）で知られる尾川邦彦など、「折れず、曲がらず、よく切れる」日本刀の一大刀剣産地であった伝統を受け継ぐ関鍛冶たちである。

5 関連事業

(1) 講演会「美濃桃山陶と無形文化財」

日時：平成28年5月29日（日） 13:30～15:00

場所：ハイビジョンホール

講師：伊藤嘉章（京都国立博物館副館長）

(2) 工房見学（郡上本染）

日時：平成28年6月4日（土） 10:30～11:30

場所：渡辺染物店
（郡上市八幡町島谷）
講師：渡辺庄吉
（出展作家）



← 工房見学のようす

特別展 新・恐竜学 ～鳥になった恐竜の脳科学～

1 開催期間

平成 28 年 7 月 8 日（金）～平成 28 年 9 月 4 日（日）

2 主催・後援・協力

主催 岐阜県博物館・中日新聞社

後援 NHK岐阜放送局

協力 福井県立恐竜博物館・三重県総合博物館 MieMu

3 趣旨

恐竜の一部は絶滅することなく、現在の地球上に鳥として生き残っている。本特別展では多くの恐竜の全身骨格を中心に展示しつつ鳥類への進化の過程を辿るとともに、透明な頭骨の中に脳の内部構造が見えるようにしたモデルなどを通して、近年の研究で明らかになってきた恐竜の脳とその変化について広く紹介した。（展示資料数 約 70 点）



展示室入口

4 展示構成

(1) 古神経学～絶滅動物の脳を研究する～

古神経学がどのような学問であるかを解説し、さまざまな脊椎動物の脳のモデルを展示しながら、その形や機能の面での特徴を紹介した。

【主な展示資料】脊椎動物の脳モデル

(2) 恐竜脳科学

恐竜がどのようにして生まれ、そして進化していったか、時系列に沿って全身骨格を中心に展示しつつ、それぞれの恐竜の脳のモデルやその映像なども展示し、その特徴から読み取れる生態などを解説した。

【主な展示資料】恐竜類の全身骨格、恐竜類の脳エンドキャストモデル、恐竜類の透明頭骨モデル

(3) 鳥になった恐竜

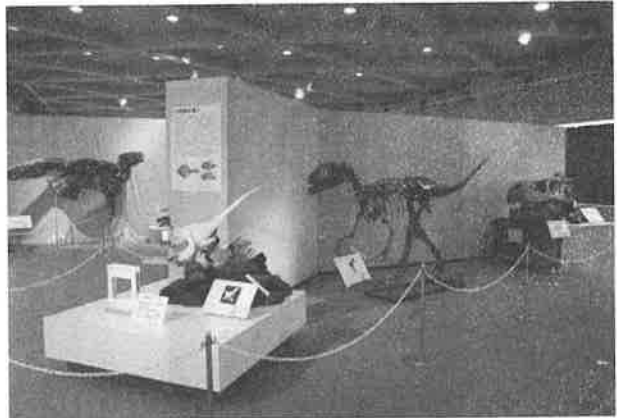
鳥類以外の恐竜類はおおよそ 6,600 万年前に絶滅したが、その中でも鳥類に近縁な恐竜類やそれと共存した原始的な鳥類などを、生体復元模型などを展示して紹介し、鳥類にいたる進化の過程を解説した。

【主な展示資料】ミヤマガラスの脳および透明頭骨モデル

(4) 岐阜とその周辺の恐竜調査

これまでの日本の恐竜研究の概要を紹介するとともに、特に手取層群（福井県・岐阜県）の恐竜と三重県の恐竜について、実物標本やレプリカ標本を展示し紹介した。

【主な展示資料】県内産出の恐竜類の歯化石（実物）



展示の様子

5 関連事業

(1) 講演会「手取層群の恐竜たち」

講師 東 洋一 氏

（福井県立恐竜博物館 特別館長）

日時 7 月 16 日（土）（13:30～15:00）

会場 岐阜県博物館 ハイビジョンホール

(2) 講演会「鳥類学者 無謀にも恐竜を語る」

講師 川上 和人 氏

（国立研究開発法人 森林総合研究所 主任研究員）

日時 8 月 27 日（土）（13:30～15:00）

会場 岐阜県博物館 ハイビジョンホール

(3) 講演会（博物館学芸講座）

「恐竜の脳科学 ～脳から探る恐竜の進化～」

講師 河部 壮一郎 氏

（前当館学芸員、現福井県立恐竜博物館研究職員）

日時 8 月 20 日（土）（13:30～15:00）

会場 岐阜県博物館 ハイビジョンホール

(4) けんぱく教室「恐竜を描こう」

日時 7 月 30 日（土）（13:30～15:30）

講師 小田 隆 氏（成安造形大学 准教授）

会場 岐阜県博物館 講堂・メインホール

(5) けんぱく教室「恐竜を造ろう」

日時 8 月 6 日（土）（13:30～15:30）

講師 徳川 広和 氏

（株式会社 ACTOW 復元造形作家）

会場 岐阜県博物館 講堂・メインホール

(6) 学芸員によるギャラリートーク

日時 7 月 17 日（日）、8 月 11 日（木）、8 月 28 日（日）

各日 13:30～14:00

特別展 「東海地方の円空仏 ～その造形と足跡をたどる～」

1 開催期間

平成28年9月23日（金）～平成28年11月20日（日）
（開催日数 51日間）

（前期）9月23日～10月23日（27日間）

（後期）10月25日～11月20日（24日間）

2 主催・後援

主 催 岐阜県博物館、岐阜新聞・ぎふチャン
後 援 NHK岐阜放送局



ポスター

3 趣旨

円空（1632～95）は江戸時代の修験者・僧である。美濃に生まれ、諸国を巡り歩き、美濃で入寂した。仏像を数多く造り、日本各地に円空仏をのこした。その現存数は5,000体を超える。東海地方は円空仏が集中して現存する地方の一つである。

この特別展では東海地方に焦点を当て、岐阜県・愛知県・三重県にのこされた円空の足跡（事績）を紹介した。主たる展示品は円空が造った円空仏だが、それ以外にも絵画などを交えて総数94点（前期81点、後期82点）を展示した。この展覧会を通して地域と円空との関連を考える機会とした。

4 展示構成

第一章 志摩の足跡

【主な展示品】

- ・大般若経のうち巻第六十二（三重県志摩市・立神自治会蔵）
- ・観音菩薩立像（三重県志摩市・少林寺蔵）
- ・護法神像（三重県志摩市・少林寺蔵）

第二章 伊勢の足跡

【展示品】

- ・大日如来坐像（三重県津市・浜城観音堂蔵）
- ・十一面観音立像（三重県津市・真教寺蔵）
- ・両面仏（阿弥陀如来・薬師如来）（三重県三重郡菰野町・明福寺蔵）

第三章 三河の足跡

【主な展示品】

- ・不動明王坐像・毘沙門天立像（愛知県岡崎市・経津

主神社蔵）

- ・金剛童子立像（愛知県豊田市・豊田市民芸館蔵）
- ・荒神立像（愛知県豊田市・豊田市民芸館蔵）

第四章 尾張の足跡

【主な展示品】

- ・千面菩薩のうち阿弥陀如来（愛知県名古屋・荒子観音寺蔵）
- ・宇賀神像（愛知県名古屋・願成寺蔵）
- ・観音菩薩立像（愛知県稲沢市・阿弥陀堂蔵）

第五章 美濃の足跡

【主な展示品】

- ・聖徳太子立像（岐阜県羽島市・中観音堂蔵）
- ・観音菩薩坐像（岐阜県岐阜市・美江寺蔵）
- ・十一面観音立像（岐阜県関市・神光寺蔵）

第六章 飛騨の足跡

【主な展示品】

- ・善女龍王立像・善財童子立像（岐阜県下呂市・温泉寺蔵）
- ・柿本人麿坐像（岐阜県高山市・東山神明神社蔵）
- ・弁才天立像（岐阜県高山市・飛騨国分寺蔵）



展示会場の様子

5 関連事業

(1) 開館40周年記念特別展講演会

「円空の作仏 ～日本美術の周辺故のオリジナリティ～」

矢島 新 氏（跡見学園女子大学教授）

平成28年9月25日（日） 13:30～15:00

(2) 開館40周年記念特別展講演会「円空と日本の風土」

浅見龍介氏（東京国立博物館学芸企画部企画課長）

平成28年10月23日（日） 13:30～15:00

(3) 学芸員と訪ねる羽島の円空仏（中観音堂・長間薬師寺）

平成28年10月15日（土） 13:30～15:45

(4) 博物館学芸講座

「円空仏にみる古仏からの影響

～革新的造形の中に隠れた伝統的造形を探る～」

守屋靖裕（岐阜県博物館学芸員）

平成28年11月12日（土） 13:30～15:00

(5) 学芸員によるギャラリートーク

平成28年10月2日（日）、9日（日）、30日（日）、
11月6日（日）、20日（日）

各日14:30～15:00

企画展 あなたが知らない鳥の世界

1 開催期間

平成28年11月26日(土)～平成29年1月29日(日)

2 主催

岐阜県博物館

3 趣旨

鳥類は、徹底的に軽量化した骨格と保温性に優れた羽毛をまとい、絶海の孤島から高層ビルが林立する大都会まで、地球のあらゆる場所に進出し、繁栄した脊椎動物である。また、6,600万年前の大量絶滅を生き残った「恐竜」が今を生きる姿でもある。

私たち人類は、自由に空を飛ぶ鳥に対して畏敬の念を持つとともに、食用や装飾のため、大量に殺りくし、多くの種類を絶滅に追いやった。鳥との付き合い方も時代とともに変わり、私たちの生活環境への関心が高まるとともに、絶滅の危機に瀕する鳥類の保護活動も活発に行われるようになった。

今回の企画展では、当館が所蔵する中部地方で最大の鳥類コレクションを中心に、膨大な鳥類標本を展示し、鳥の体のつくりや生態を知り、私たちの生活とのかかわりを考える機会とした。

4 展示構成

(1) 鳥の体のかたち

鳥は空を飛ぶために、羽毛と軽量化した骨格を持つ。ここでは、骨格標本、翼標本、飛翔型の剥製標本などを展示し、空を飛ぶための体の仕組みを紹介した。

【主な展示資料】

始祖鳥の化石レプリカ、クマタカの羽毛、さまざまな鳥類の翼、骨格、胸骨、頭骨、卵（一部は岐阜大学応用生物学部動物繁殖学教室所蔵）

(2) 日本の鳥類の多様性

日本では、663種の鳥類が記録されている。新しい分類体系に基づいて鳥類の剥製と骨格標本を展示し、その多様性を紹介した。



展示風景 1

【主な展示資料】

ハクガン、シロフクロウ、チャバラアカゲラなど各分類群の剥製や骨格標本

(3) 鳥を調べて守る

鳥は広い地域の環境変化や人類の活動に影響されやすい動物である。そのため、鳥の種類や数を調べ続けることは、地球環境の変化を知ることにつながる。ここでは、絶滅した鳥類の剥製やルートセンサスや渡りの調査など、鳥類の保護につながる調査方法を紹介した。

【主な展示資料】

絶滅鳥類（トキ、キタタキ）の剥製（奈良女子大学所蔵）、アホウドリ、ライチョウ、岐阜県で見られるカモ類、百年公園で見られる冬鳥など

(4) 標本の博物誌

日本の鳥学黎明期は、いわゆる殿様生物学者が活躍する時代であった。ここでは、当館が所蔵する古い鳥類標本や周辺資料を展示することで、明治から昭和にかけて活躍した鳥学研究者、鳥獣採集人や収集家を紹介した。

【主な展示資料】

柳原鳥類コレクションなど

5 関連事業

(1) 学芸講座「旅するアカコッコ～鳥類学黎明期の豪商コレクターの生き様～」

日時：平成28年12月17日(日) 13:30～15:00

場所：ハイビジョンホール

講師：説田健一（当館学芸員）

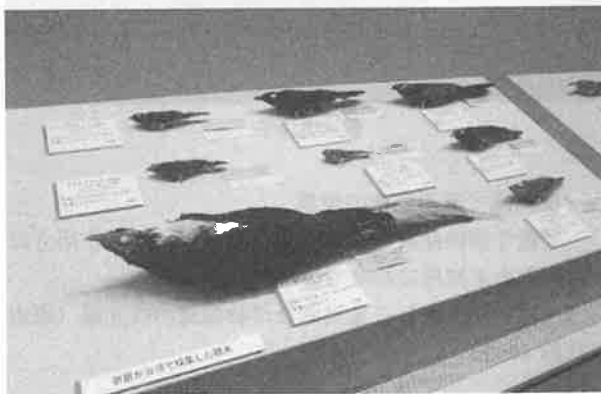
(2) けんぱく教室「学芸員と学ぶ百年公園の冬鳥」

日時：平成29年1月14日(土) 10:00～12:00

場所：百年公園および津保川

講師：当館学芸員

* 荒天のため中止



展示風景 2

企画展 古生物の復元画 ～小田 隆の世界～

1 開催期間

平成29年2月11日(土・祝)～平成29年4月9日(日)

2 主催

岐阜県博物館

3 趣旨

図鑑などでおなじみの恐竜をはじめとする様々な古生物たち。その生き生きとした様子を描く復元画は、化石の研究から得られた情報をもとに科学的に制作されたものである。本企画展では、日本を代表する恐竜復元画家である小田隆氏の手による復元画作品を展示するとともに、画家がどのように科学的に作品を仕上げていくのかを紹介した。また、岐阜県博物館のために描いたオリジナル作品の原画も多数展示します。研究者らとの綿密なやりとりによって描かれた復元画を通して、恐竜の姿を私たちに見せてくれる小田隆氏の世界に迫った。(展示資料数 約70点)

4 展示構成

(1) 復元画ができるまで

恐竜を描くために、画家と研究者がどのようなやり取りをし、どのように絵が変化していくのか、制作過程を追いながら紹介した。

【主な展示資料】アロサウルス vs ステゴサウルス、水面を渡るイグアノドン類

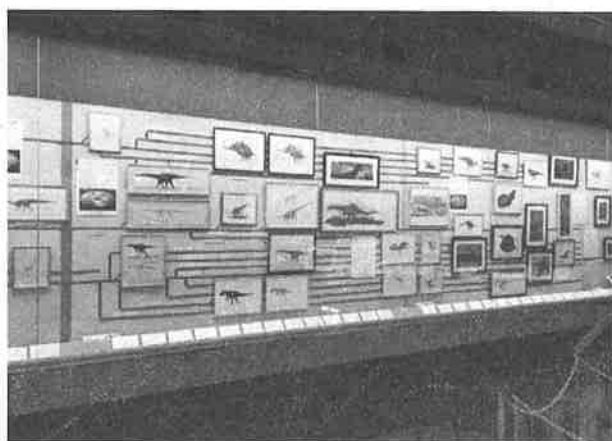


展示の様子

(2) 復元画で見る恐竜の世界

図鑑や博物館展示など、様々なメディアで使用された原画を系統樹にのせて展示。

【主な展示資料】三重県総合博物館蔵の復元画(原画約40点)

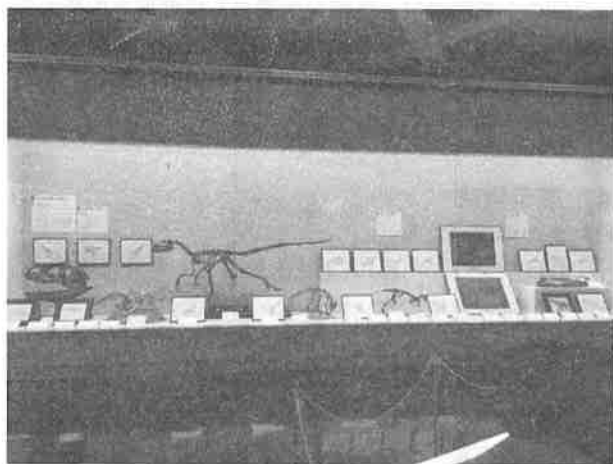


展示の様子

(3) 岐阜県博物館の恐竜復元画

岐阜県博物館で見られる恐竜復元画の原画と、制作するにあたり参考にした恐竜骨格標本を展示。

【主な展示資料】岐阜県博物館のために描かれた復元画(原画14点)、デイノニクス全身骨格(複製)



展示の様子

(4) 恐竜を描こう

恐竜の骨格を観察しながら描く体験スペースを設置。画用紙を画板とともに配布し、展示室内で自由に描けるようにした。幼児には塗り絵も用意した。

【主な展示資料】タルボサウルス頭骨(複製)

5 関連事業

(1) 講演会「ホネからはじまる恐竜の復元

～アーティストと科学者との共演～

講師 小田 隆 氏(成安造形大学 准教授)

日時 2月25日(土) (13:30～15:00)

会場 岐阜県博物館 ハイビジョンホール

(2) 学芸員によるギャラリートーク

日時 2月12日(日)、19日(日)、3月5日(日)、
12日(日)、20日(月・祝)、29日(水)

各日 13:30～14:00

移動展 ひだの自然

1 開催期間

平成28年4月13日(水)～平成28年6月12日(日)

2 主催・共催

主 催 岐阜県博物館

共 催 飛騨高山まちの博物館

3 趣旨

岐阜県の飛騨地方は「飛山濃水」という言葉に象徴されるように、山が連なる「山の国」です。標高3000mを越える北アルプスには、地球が今より寒冷だった時代の痕跡が残され、氷河の後退とともに、高山帯に取り残されたライチョウなどの特有な生物も見られます。また、飛騨地方には、恐竜化石や日本最古の化石など、全国的に有名な地学事象も数多く存在します。

本展覧会では、当館資料を中心に、飛騨が世界に誇る豊かな自然を紹介し、高山市周辺の県民や観光客が、飛騨特有の自然事象への関心を高める機会とします。



展示風景1

4 展示構成

(1) ひだの地質

飛騨地方で産出する古生代から中生代の化石と神岡鉱山の鉱物を展示した。

【主な展示資料】

山腰化石コレクション(高山市蔵)、三宅化石コレクション(個人蔵)、荘川の化石(高山市荘川支所蔵など)、神岡鉱山の鉱物、温泉ジオラマなど

(2) ライチョウ

飛騨山脈の高山帯に生息するライチョウの剥製やえさとなる植物の標本などを展示し、保護活動の現状を紹介した。

【主な展示資料】

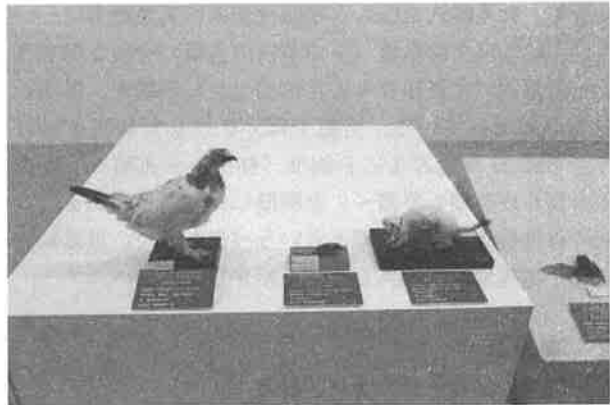
世界のライチョウの剥製、ライチョウの巣卵の標本、高山植物の標本、ライチョウの天敵(オコジョ、イヌワシなど)の剥製

(3) ひだの希少な生物

高山帯や高層湿原などに、氷河期の後退とともに、取り残された希少な動植物を紹介した。

【主な展示資料】

カワシンジュガイ、ミヤマモンキチョウやヒメシロチョウなどの草原と高山帯に生息するチョウなど、フガクスズムシソウ、ムシトリスミレなど高層湿原や高山帯に生育する植物



展示風景2

5 関連事業

(1) シンポジウム「ひだの自然の魅力を伝えよう」

日時 4月23日(13:30～15:00)

会場 高山市まち博研修室

講師 楠田 哲士 氏(岐阜大学准教授)

下畑 五夫 氏(高山陣屋学芸員)

(2) けんぱく教室「鹿角ストラップをつくろう」

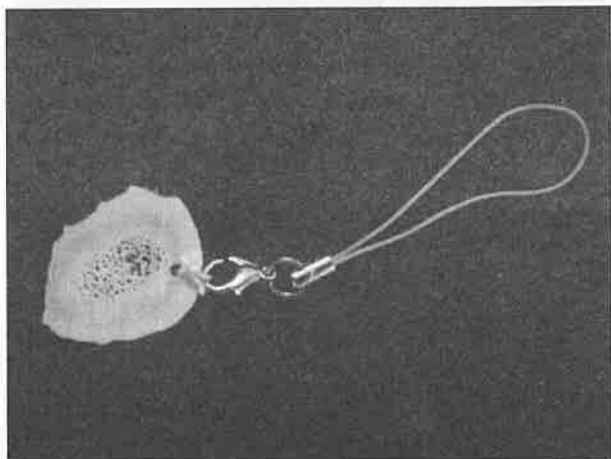
日時 4月30日(土)(11:00、14:00から随時受付)

会場 高山市まち博研修室

(3) けんぱく教室「水晶ジオード割り」

日時 5月15日(日)(11:00、14:00から随時受付)

会場 高山市まち博研修室



輪切りにしたシカの角で作製したストラップ

移動展 弥生から古墳へ ～可児・加茂地域の墳墓と集落～

1 開催期間

平成28年6月25日(土)～平成28年8月21日(日)

2 主催・共催

主催：岐阜県博物館

共催：中山道みたけ館・岐阜県文化財保護センター

3 趣旨

近年、弥生時代末から古墳時代初めの美濃地方については、岐阜県史跡指定(夕田茶臼山古墳)や岐阜県重要文化財指定(美濃観音寺山古墳出土品)が続き、県民の関心が高まっている。当館では、こうした状況を受けて、平成27年度の冬に企画展「弥生から古墳へ～墳墓が語る変革期の美濃～」を開催したところである。今回の移動展は、その続編ともいえるべきもので、当該期の可児・加茂地域に焦点を当てて紹介した。

4 展示構成

(1) 可児・加茂地域の墳墓と集落

可児地域は、美濃地方における古い時期の古墳の集中域のひとつとして知られ、また弥生時代末から古墳時代前期の地域のリーダーの墳墓の変遷がわかる、美濃地方だけでなく東海の中なかでも重要な地域として注目されている。また、同じ木曽川流域の加茂地域は、前方後円形であることが分かった夕田茶臼山古墳をはじめ、近年、発掘調査により、少しずつ実態の解明が進捗しつつある。

ここではそれぞれの遺跡を代表する出土品を展示し、パネルによって、遺跡及び地域の特徴を説明した。



展示風景

【展示資料】岐阜県史跡・東寺山古墳(御嵩町 銅鏡〔複製〕) 金ヶ崎遺跡(御嵩町 土器、玉類、銅製品) 顔戸南遺跡(御嵩町 土器、木製品) 柿田遺跡(可児市 土器、玉類、銅製品) 為岡遺跡(美濃加茂市 土器) 伊瀬栗地遺跡(美濃加茂市 銅製品〔複製〕) 岐阜県史跡・夕田茶臼山古墳(富加町 土器、石製品) 東野遺跡(坂祝町 土器、玉類、鉄製品)

(2) 石庖丁と磨製石鏃

当該期の当地域を代表する考古資料として、石庖丁と磨製石鏃を取り上げた。

石庖丁は全国的には当該期にはみられなくなるが、当地域では依然として使用が確認され、地域の特徴と考えられている。柿田遺跡出土品を中心に弥生中期から末頃までの石庖丁を展示した。

加茂地域の東野遺跡では弥生時代後期の磨製石鏃の製作工程を推定することができる資料が出土した。そこで、石材から製品までを推定された製作工程に基づいて展示した。

【展示資料】半布里遺跡(富加町 石庖丁) 為岡遺跡(美濃加茂市 石庖丁) 顔戸南遺跡(御嵩町 石庖丁) 柿田遺跡(可児市 石庖丁) 東野遺跡(坂祝町 磨製石鏃・未成品・砥石・磨石・敲石)

5 関連事業

(1) 移動展講演会

「古墳時代へ～可児・加茂地域の遺跡から～」

7/18(月・祝)13:30～15:00

当地域の弥生時代末から古墳時代初めの様子に詳しい美濃加茂市民ミュージアム学芸員 藤村俊氏を講師に迎え、可児・加茂地域の当該期の遺跡の発掘調査を紹介するとともに、発掘調査成果等からどのように地域の歴史が描けるかをテーマに講演していただいた。51名参加。

(2) 移動展ワークショップ

「まが玉をつくろう」 7/24(日)13:30～15:30

当館学芸員がまが玉の歴史について話をし、参加者実際にまが玉を作成していただいた。23名参加。



移動展講演会の様子

「岐阜県誕生 一清流の国ぎふの源流を訪ねて」

1 開催期間

平成 28 年 7 月 12 日（火）～ 8 月 28 日（日）

2 主催・共催

主催：岐阜県博物館

共催：岐阜県図書館

3 趣旨

今年は、明治 9 年（1876）に飛騨美濃が合併して 140 年を迎える。これを記念して、県図書館において「岐阜県誕生 一清流の国ぎふの源流を訪ねて」を開催した。この展覧会では、飛騨、美濃の誕生から、合併し岐阜県が誕生していくまでの歴史を、「川」に視点をあてて紹介した

4 展示構成

(1) 飛騨・美濃の誕生

今から約 1300 年前、飛騨・美濃両国が誕生した。飛騨・美濃両国の誕生について、正倉院に伝わる美濃国戸籍（レプリカ）などから考察する。

① 令制国飛騨・美濃の誕生

御野国（半布里戸籍）戸籍

老洞古窯址出土刻印須恵器（県博物館）

② “ ” の役割 『延喜式』（岐阜高校）

(2) 美濃と尾張の国境をめぐる問題

古来美濃と尾張の国境は、広野川（現木曾川）によって画されていた。しかし、当時の河川は乱流を繰り返したため、美濃・尾張の間では争いが絶えることはなかった。時代を超えた両国の争いについて、二つのできごとを通して考察する。

① 広野川事件 『日本三代実録』（岐阜高校）

② 本能寺の変後の織田信雄・信孝の争い

古文書（徳川財団蔵・パネル）

(3) 近世の治水 一知られざるお手伝い普請一

近世の美濃では、木曾三川をめぐる治水問題は大きな課題とされた。とりわけ宝暦治水は広く知られているが、ここでは宝暦治水だけではなく、秘せられた治水工事の歴史を紐解く

① 陸奥二本松藩延享治水（延享 4 年・1747）

② 薩摩藩宝暦治水（宝暦 3～5 年・1753～5）

③ 長州藩明和治水（明和 3 年・1766）

長州藩濃州勢州川々御手伝御場所絵図（山口県文書館・パネル）

(4) 岐阜県の誕生と治水

戊辰戦争から飛騨美濃合併に至る経緯をまとめ、岐阜県の成立について紹介する。

① 戊辰戦争と東征軍

東征軍関連資料（農商江布告、横倉資料）

② 新政府の誕生 五榜の掲示（第 2 札・第 3 札）

③ 飛騨美濃の合併

明治 9 年（1876）に飛騨美濃合併に至る経緯をまとめ、岐阜県の成立について紹介する。

・ 笠松県と高山県の誕生 県絵図

・ 岐阜県の誕生 なぜ美濃と飛騨が合併したのか 県絵図、小崎利準県令肖像画（県歴史資料館）

④ 近代の治水

治水碑（岐阜市内分流写真）

⑤ 現代の越県合併

・ 昭和の越県合併 旧石徹白村、旧神阪村、

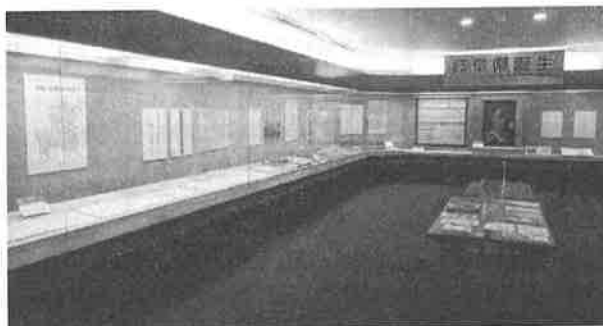
・ 平成の越県合併 旧山口村

5 関連事業

(1) ギャラリートーク

7 月 17 日（日）、31 日（日）、8 月 4 日（日）、
14:00～14:30

移動展の様子



マイミュージアムギャラリー

1 展示内容

	展 示 会	展 示 内 容	
1	《故玩館移動展》 美術工芸品で味わう能文化 ～故玩館 骨董・アンティークコレクション～ 出展者 故玩館（瑞穂市） 平成 28 年 4 月 9 日（土） ～ 5 月 8 日（日）	瑞穂市在住の杉原氏が蒐集した古美術品や歴史資料を展示している故玩館の移動展。同館が収蔵している絵画・陶磁器・漆器など、能に関係した多種多様な美術工芸品や『関ヶ原合戦大絵図』など 100 点余を展示した。	
2	メダルコレクション ～戦前・戦中の彫刻家たち～ 出展者 中野 克俊（各務原市） 平成 28 年 5 月 21 日（土） ～ 6 月 19 日（日）	各務原市在住の中野氏が収集したメダルのコレクション展。日名子実三や齋藤素厳など戦前・戦中の彫刻家が原型制作したメダル 100 点余と、彫刻の絵葉書 300 点余を展示した。	
3	パッチワークキルト展 ～夫婦で歩んだ 30 年～ 出展者 横山 金市・浩子（岐阜市） 平成 28 年 7 月 2 日（土） ～ 7 月 24 日（日）	岐阜市在住の横山夫妻が、長男の不慮の死による悲しみを乗り越えて制作したパッチワークの作品展。古布や西陣の帯を用いて制作した大型タペストリーをはじめ、バックやポーチなど小物 100 点余を展示した。	
4	鉄道グッズコレクション ～マニアが蒐集した記念グッズと旅の思い出～ 出展者 本田 博志（美濃加茂市） 平成 28 年 8 月 6 日（土） ～ 9 月 4 日（日）	美濃加茂市在住の本田氏が収集した鉄道グッズのコレクション展。高山本線全線開通 80 周年記念グッズなどの周年記念グッズ、時刻表、路線図、駅弁、観光絵葉書など多種多様な鉄道関連グッズ 1,300 点余を展示した。	
5	百徳きもの作品展 ～布の縁を紡いで～ 出展者 百徳キルトの会／ 呉山 裕子（金沢市）・宮本 志保子（関市） 平成 28 年 9 月 17 日（土） ～ 10 月 16 日（日）	金沢市在住の呉山氏が主宰する「百徳キルトの会」の会員 10 名余が制作した「百徳きもの」の作品展。着物の端切れを用いて制作した百徳きものやちゃんちゃんこ、タペストリーなど 100 点余を展示した。	
6	能面展 ～平家物語への誘い～ 出展者 岐阜面游会／ 阿部 景雲（各務原市） 平成 28 年 10 月 29 日（土） ～ 11 月 27 日（日）	各務原市在住の阿部氏が主宰する「岐阜面游会」の会員が制作した能面の作品展。平家物語を題材とした能で使用される能面 30 点余を中心に、謡本や囃子に使用される楽器などをあわせて展示した。	
7	昔のあかりコレクション ～あかりを生み出す道具たち～ 出展者 渡邊 剛（関市） 平成 29 年 1 月 14 日（土） ～ 2 月 5 日（日）	関市在住の渡邊氏が収集した灯火具に関するコレクション展。江戸時代から昭和初期にかけて製造・使用された行灯やひょうそく、提灯、燭台、火打金、灯火に関する引札、人形など 400 点余を展示した。	
8	《松井屋酒造資料館移動展》 昔の酒造用具と懐かしの道具コレクション 出展者 松井屋酒造資料館（富加町） 平成 29 年 2 月 18 日（土） ～ 3 月 20 日（月・祝）	岐阜県重要有形民俗文化財に指定された 3,600 点余の酒造用具を所蔵する松井屋酒造資料館（富加町）の移動展。同館が収蔵する様々な桶や樽、櫛棒など酒造用具 120 点余を展示し、酒造工程をあわせて紹介した。	

2 出展者による催し物や実演等の開催

観覧者と出展者、あるいは観覧者同士の情報交流やふれあいの場として、また体験を通して展示内容についての理解を深めてもらうために、展示期間中には出展者が主催者となった催し物を開催した。

(1) 第1回展示《故玩館 移動展》

「美術工芸品で味わう能文化

～故玩館 骨董・アンティークコレクション～

講座 「音で味わう能～能楽師による演奏とトーク～」

日時 平成28年5月1日(日) 13:00～14:00

講師 後藤嘉津幸(幸清流小鼓方)

竹市 学(藤田流笛方)

会場 ハイビジョンホール

出展者の杉原氏が小鼓、能管などの楽器や能音楽について解説し、若手実力派能楽師である後藤氏と竹市氏が能囃子を演奏し、能を音によって体感できる催し物であった。



「音で味わう能文化」の様子

(2) 第3回展示

「パッチワークキルト展 ～夫婦で歩んだ30年～」

講座 「和柄木綿のパッチワークキルト小物入れ作り」

日時 平成28年7月18日(月・祝)・7月23日(土)

両日とも 10:00～12:00

講師 横山 金市・浩子

会場 講堂

出展者の横山夫妻の指導のもと、和柄木綿を生地に使いセミの形をあしらった小物入れを制作した。

(3) 第4回展示

「鉄道グッズコレクション

～マニアが蒐集した記念グッズと旅の思い出～」

講座 「昭和鉄道物語 ～東海地方の鉄道をめぐって～」

日時 平成28年8月28日(日) 13:30～15:00

講師 本田 博志

会場 ハイビジョンホール

鉄道の黄金時代といわれた昭和40年代の東海地方の路線や鉄道施設、乗車券などについて、出展者の本田氏が撮影した写真や収集した資料をもとに紹介した。

これらの講座の他にも展示期間中には、出展者による制作実演、体験会が行われた。

①第4回展示

「鉄道グッズコレクション

～マニアが蒐集した記念グッズと旅の思い出～」

・Nゲージ鉄道模型の運転会を実施。

②第5回展示

「百徳きもの作品展 ～布の縁を紡いで～」

・きもの羽織体験を実施。

③第6回展示「能面展 ～平家物語への誘い～」

・面打ちの実演を実施。平成28年11月3日(木・祝)

・謡仕舞の実演を実施。平成28年11月20日(日)



「面打ちの実演」の様子



「謡・仕舞の実演」の様子

・面かけ体験を実施。

④第7回展示

「昔のあかりコレクション

～あかりを生み出す道具たち～」

・火打ち金と火打ち石を使った「切り火」の実演、ひょうそくに火をともし実演を実施。

3 U-18ミュージアム

マイミュージアムギャラリーでは、昨年度から高校生を対象にした展覧会「U-18ミュージアム」を開催している。

(1) U-18ミュージアム by 市岐商

～市岐商デパートと学校創立50年のあゆみ～

期間 平成28年12月6日(火)～12月17日(土)

出展者 岐阜市立岐阜商業高等学校

平成29年度に35回目を迎える「市岐商デパート」の歴代のポスターや当時の写真、オリジナル商品などを展示した。また、平成31年度に学校創立50周年をひかえ、学校に残る写真やアルバム等の記録、制服、各部活動のユニフォームや賞状、杭州市(中国)との交流活動の記録などの展示を通して、岐阜市立岐阜商業高校のあゆみを紹介した。



「U-18 by 市岐商」の様子

(2) U-18ミュージアム by 岐阜各務野高校

～来て・見て・触れる デジタル作品～

期間 平成28年12月20日(火)

～平成29年1月7日(土)

出展者 岐阜各務野高等学校情報科

岐阜各務野高等学校の情報科の生徒が制作したデジタル作品を展示。人の動きによって光や音が変化する作品をはじめ、プロジェクトマッピングの技術を応用したオブジェ、「あったかい声かけ運動」を電子書籍にした作品など生徒が制作した様々なデジタル作品を展示した。「U-18 by 岐阜各務野高校」の様子



6 調査研究活動

【調査研究】

(1) 人文部門

①考古分野

ア 展示にかかわる調査研究

企画展「弥生から古墳へ ～可児・加茂地域の墳墓と集落～」にむけて、展示品の選定、石庖丁などに関する調査等を行い、その成果を展示パネルとして展示会場で示した。

平成 29 年度特別展に向け、調査研究を行った。県内の古墳時代中期から奈良時代前半期を対象に、発掘調査成果を通覧し、それに基づいて展示構成を考えた。また当該期の美濃が大きく歴史上に登場する壬申の乱について、関連史資料の調査を行い、展示品の選定を行った。

ミニ企画展「鳥のついた須恵器 ～南高野古墳の調査より～」および「祓の祭祀具 ～柿田遺跡出土の形代～」の展示に向け、展示品の調査などを行った。

イ その他

博物館学芸講座「木簡から見た美濃国諸郡の成立」に向けた調査研究を行い、美濃国所管の郡（評）の初見史料を整理した。また、その成果を当館調査研究報告第 37 号に「美濃（三野）国の郡（評）の初見について」としてまとめた。

けんぱく教室「学芸員と見学する美濃金山城の山城遺構」および「古代の武義郡の歴史を学ぶⅡ」に向け、関係資料の調査研究を行った。

②歴史分野

ア 展示にかかわる調査研究

平成 28 年度図書館移動展「岐阜県誕生 140 年～その源流を訪ねて～」開催に向けた調査研究を実施した。当年は岐阜県が誕生しほぼ現在の形となって 140 年であった。その周年事業として県図書館で移動展を開催。また、平成 29 年度春季企画展「関ヶ原～天下分け目の合戦と美濃」の開催準備のため資料調査、出品交渉等を行った。

イ その他

県の施策と関連して、関ヶ原ビジターセンターWGに参加するとともに、同町歴史民俗資料館での展示協力や同町教育委員会主催事業（講座講演会・現地講座）への協力といった連携を深めた。

ウ 収蔵資料などにかかわる調査研究

指定文化財の公開を行なうとともに、公開講座・出前講座の実施等にもない、館蔵の古文書や県内所在の古文書等の調査研究を進めた。

③民俗分野

ア 常設展示にかかわる調査研究

人文展示室 1「郷土の百年」コーナーの独立ケース内「名和裁縫女学校」資料の内容を入れ替えた。当該資料は、揖斐郡大野町に所在した名和裁縫女学校（明治 36

～昭和 18 年）の関連資料で、展示では近代の女子教育について簡単に紹介している。

本年度は特別展・企画展で多数の資料を展示するため通常より使用区画を拡大して人文展示室 2・特別展示室の 2 室が使用されたため、常設展示の入れ替えは少なかった。特集展示として、「見つめる目・写真家の見た飛騨美濃 後藤英夫の円空仏」（2017 年 2 月 14 日～4 月）を開催した。関市から作品を借用して実施したもので、次年度に予定している飛騨高山まちの博物館での移動展のお披露目的な展示である。

また、建材の風化・部材の緩み・歪みが目立ってきた旧徳山村民家の改修・修繕について各関係機関と協議を進めている。

イ 特別展にかかわる調査研究

企画展「伝統と創造 岐阜県重要無形文化財のわざと美」を開催した。当該展覧会は、国重要無形文化財（いわゆる人間国宝）制度に準じて制定された県重要無形文化財の陶芸（志野、織部、黄瀬戸）と郡上本染、美濃伝日本刀鍛錬技法の保持者・保持団体、6 人 1 団体を取上げるもので、作家をはじめとする関係者の協力を得て展覧会および関連事業を実施した。

ウ 教育普及事業

恒例の「正月遊びをしよう」において、サポーターの提供によりメニューを拡充できた（竹馬、凧を追加）。

④美術工芸分野

ア 収蔵資料にかかわる調査研究

収蔵資料については継続して調査研究を行っている。その成果を披露する場として常設展がある。今年度は常設展の中に設けた期間限定のミニ企画展示を次のとおり 2 回行った。

- ・企画展「伝統と創造～岐阜県重要無形文化財のわざと美～」関連展示 岐阜県重要無形文化財保持者の作品―館蔵品のやきものと染織品より―
- ・岐阜県重要文化財の刀剣

これ以外にもコーナーを設けて次の展示を行った。

- ・国重要無形文化財保持者によるやきもの（前年度から）
- ・成木一成作の鍔
- ・桜が描かれた絵画

イ 特別展にかかわる調査研究

昨年度から引き続き、開館 40 周年記念特別展「東海地方の円空仏 ～その造形と足跡をたどる～」の開催に向けて調査研究を行った。

出品候補資料の所蔵者や管理者のところへ赴き、貸出の依頼と実査を行った。協力的なところが多く、特別展に所蔵者 30 件から 87 点の資料を借用することができた。

また、展覧会図録や展示会場内の解説パネルの執筆に際しては、展示品個々の説明に重点を置いた。それぞれの資料について実査や写真観察、文献渉猟などを行い、これらの調査結果をもとに執筆した。これらの成果により、ギャラリートークも実施した。

あわせて現地拝観会「学芸員と訪ねる羽島の円空仏（中観音堂・長間薬師寺）」や博物館学芸講座「円空仏にみる古仏からの影響～革新的造形の中に隠れた伝統的造形を探る～」に関して調査研究を行った。その成果によって催事を実施した。

ウ 岐阜県の宗教彫刻にかかわる調査研究

外部の機関や所蔵者から宗教彫刻に関する依頼・相談等が寄せられることがある。これらを引き受けて行う調査研究活動は、岐阜県博物館が外部と連携・協働しながら行う社会活動と位置付けてよい。ただし公共に益することがない、個人の財産査定等は引き受けていない。

平成 28 年度も依頼・相談等に応じる機会があった。これらは県内の文化財について知見を得る絶好の機会であり、当館にとっても有益である。今後も県内の宗教彫刻の状況を把握し、調査研究や文化財保護活動などに資するよう努めたい。

⑤博物館全県展開構想事業

博物館の収蔵資料や調査研究を広く県民に紹介するため、「来館を待つ」姿勢から、積極的に外へ「打って出る」姿勢へと転換し、県有施設等を活用した展示活動を実施する。具体的には、中濃地域の岐阜県博物館本体のほか、岐阜地域は県図書館、飛騨地域は高山陣屋での博物館資料の展示を行うため、平成 29 年度に県図書館と高山陣屋を整備する。また、西濃地域は関ヶ原ビジターセンター（仮称：平成 32 年度開館予定）で展示する予定であり、東濃地域はリニア岐阜駅関連施設（平成 39 年度整備予定）での展開を想定している。

平成 28 年度は次のような作業を行った。

ア 5 県域カタログと展示ストーリー作成

各地域に沿う内容で、当館収蔵資料を中心に以下の各テーマで展示ストーリーを作成した。

岐阜「岐阜ものの一覧 ～清流・長良川の恵み」

飛騨「山国・飛騨 匠と産物」

東濃「中山道 ～列島の東西を結ぶ～」
「中山道の人と文化」

西濃「関ヶ原 天下分け目の合戦と美濃 ～東西文化の融合～」

中濃「中濃の祈り ～白山・高賀山・円空～」

イ 図書館企画展示コーナー改修計画の作成

ウ 関ヶ原古戦場ビジターセンター設立準備

エ 高山陣屋展示計画の作成

(2) 自然部門

①動物分野

ア 主な研究テーマ

- (ア) 里地里山に生息する動物の生態について
- (イ) 戦前の鳥獣採集家及び博物学標本商について

イ 原著論文等

説田健一. 2016. 山階鳥類研究所の靫山鳥類コレクションから見つかった柳原要二との交換による

鳥類標本. 山階鳥類学雑誌 48(1): 16-28.

説田健一. 2016. 柳原要二が明治後期から昭和初期に収集した鳥類標本について. 生物学史研究 94: 45-48.

佐野めぐみ, 籠橋数浩, 説田健一. 2017. 岐阜県関市小屋名におけるニホンカモシカの記録. 岐阜県博物館調査研究報告 37: 3-4.

ウ 学会発表など

説田健一; 中尾喜代美. 2016. 石河熙香が比律賓ダバオで採集した鰐の剥製について, 2016 年度生物学史分科会「夏の学校」, 奈良, 2016 / 8.

説田健一. 2016. 柳原要二が大正 14 年 (1925) から昭和 3 年 (1928) に購入した折居彪二郎の剥製について, 日本鳥学会 2016 年度大会, 札幌, 2016/9.

エ 館内サークル活動の企画及び運営

ダチョウ組 (動物標本作製サークル)、岐阜の魚研究会、クモ研究会、モニタリングサイト 1000 里地調査グループ、昆虫標本整理グループの運営

オ 他団体との調査活動

- (ア) ウシモツゴを守る会 (ウシモツゴの生息と保護にかかわる調査. 岐阜県水産研究所、世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ、関市、美濃市、NPO 法人ふるさと自然再生研究会と共同)
- (イ) 金華山えこねっと (金華山にかかわる市民科学についての調査及び普及活動. 岐阜大学応用生物科学部寄附研究部門 (鳥獣対策研究部門) などと共同)
- (ウ) 東海地方の魚類調査 (三重県総合博物館生きものグループとの共同調査)

② 植物分野

ア 主な研究テーマ

- (ア) 里地里山に生育する植物の生態について
 - (イ) 岐阜県博物館と連携した教師教育プログラムの開発
- #### イ 学会発表
- (ア) 須山知香、可児美紀、田中俊弘、高橋 弘. 2016. 地域植物誌に欠かせない地域植物標本庫の存続戦略. 日本植物分類学会第 16 回大会
 - (イ) 井上好章、可児美紀. 2016. 5m ひもを使って、簡易ベルトトランセクト法を取り入れた植物観察「長良川の上流、中流、下流の植物観察」を例として. 日本理科教育学会第 62 回東海支部大会

ウ 館内サークル活動の企画及び運営

- (ア) モニタリングサイト 1000 里地調査

エ 他団体との調査活動

- (ア) 岐阜県植物誌調査会 (県植物誌編纂関係調査)
- (イ) 岐阜県植物研究会 (岐阜県内の植物の調査)
- (ウ) パターン把握を通して環境リテラシーを高める現職教員研修プログラムの作成を目指す会. 科学研究費. (長良川の上流・中流・下流域の調査)

③ 地学分野

ア 主な研究テーマ

- (ア) 主竜類における足部筋の相同関係解明
- (イ) 獣脚類における足部機能の進化史解明
- (ウ) 手取層群の堆積相解析
- (エ) 岩手県久慈市より産出の獣脚類趾骨化石の記載
- (オ) 瑞浪層群の新たな化石含有層の調査

イ 原著論文等

Hattori, S. 2016. Evolution of the hallux in non-avian theropod dinosaurs. *Journal of Vertebrate Paleontology* 36(4): e1116995.

河部壮一郎, 北山浩生, 服部創紀. 2016. 型取りによる透明恐竜頭骨模型の開発. 福井県立恐竜博物館紀要 15, 85-92.

ウ 国際学会発表

Hattori S. 2016. Homologies of pedal muscles between avian and non-avian reptiles as a basis for their reconstruction in fossil archosaurs. *Society of Vertebrate Paleontology 76th Annual Meeting*, Utah, 2016/10.

エ 国内学会発表

服部創紀, 對比地孝亘. 獣脚類 *Herrerasaurus ischigualastensis* の足部筋肉系の復元. 日本古生物学会第 166 回例会, A09, 東京, 2017/1.

服部創紀. 化石主竜類における足部筋の進化史解明に向けた現生爬虫類における足部筋の相同関係の解明. 日本古生物学会 2016 年年会, P35, 福井, 2016/6.

河部壮一郎, 北山浩生, 服部創紀. 魅せる恐竜の脳 ~型取りによる透明模型の開発~. 日本古生物学会 2016 年年会, P54, 福井, 2016/6.

オ 館内サークル活動の企画及び運営

- (ア) 百年公園内に埋設された手取層群化石含有層の岩石の調査 (サポーター活動)

カ 他団体との調査活動

- (ア) 東京大学との共同研究
- (イ) 瑞浪市化石博物館との共同研究
- (ウ) 福井県立恐竜博物館との共同調査
- (エ) 早稲田大学との共同研究 など

(3) マイ・ミュージアム部門

マイ・ミュージアム部門では、マイミュージアムギャラリー展示に係る業務とマイ・ミュージアム業務から構成されている。

マイミュージアムギャラリー展示に係る事業は、マイ・ミュージアム棟 2 階の展示室にて「岐阜県に在住、

在勤及びゆかりのある個人又は団体（法人等）」が長年にわたって、調査・研究・収集されている貴重なコレクションを、広く展示公開する業務である。

また、マイ・ミュージアム業務は、当館収蔵資料のデータベース構築に係る業務として収蔵品をはじめ有形・無形の文化資源等をデジタル化して保存等を行う業務（デジタルアーカイブ）及び、インターネット公開に係る業務、並びにハイビジョンホール活性化事業で構成されている。ハイビジョンホール活性化事業については、平成 26 年度から実施し成果を上げている。

① マイミュージアムギャラリーについて

ア 運営の概要

生涯学習時代、県民が個人的に調査、収集、研究した資料のコレクションや生涯学習の成果や作品には、大変素晴らしいものが多数存在する。こうした背景から、県民独自のコレクションや生涯学習の発表の場として、マイミュージアムギャラリーが開設された。ここでは、県民相互が多様な文化情報の発信・授受を行うなどの多目的な活用も図られている。博物館では一定期間、展示を公開する場の提供と側面支援を行うことで各展示前に定める目標の達成を目指している。

展示計画は、出展申し込みのあった展示内容をもとに、マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の意見を参考にして次年度の展示会が決定される。なお、出展者の募集や出展調査は常時行っている。

イ マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の開催

- ・日時 平成 28 年 11 月 9 日（水） 13 時 30 分～15 時
- ・場所 本館会議室

ウ 展示記録「マイ・コレクション」（展示紹介チラシ）の発行

展示紹介チラシ「マイ・コレクション」を各回の展示ごとに発行した。これを展示会場内で観覧者に配布するとともに、出展者が自主的に行う広報活動の資料として活用した。平成 28 年度は 7 年度からの通番で、第 160 号から第 167 号までを発行した。チラシ等の配付における来館効果を母平均推定 95% 確率で統計学的に推定した結果、8.9% から 19.5% 内でチラシには来館誘導効果があることが分かっており、平成 28 年度も平成 25 年度と同様に「マイ・コレクション」を関係各所に配布し効果をえた。結果は展覧会の平均来館者数は昨年度の中央値（メジアン：Me）を上回る結果となった。

エ 博物館同人としての登録

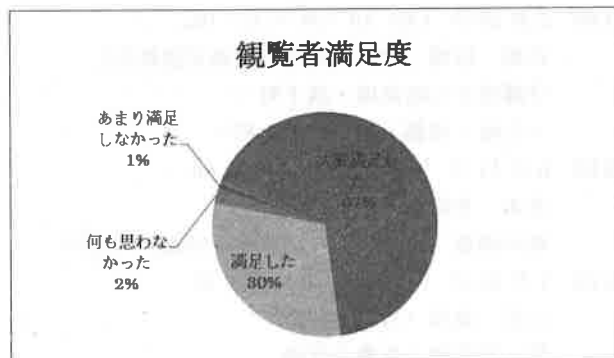
平成 28 年度時点での同人登録者数は 117 名であり、往復ハガキなどを用いて、マイミュージアムギャラリーに関する意見や新規の出展者情報を収集している。

オ 観覧者、出展者への意識調査の実施と分析

観覧者にマイミュージアムギャラリー展示の満足度調査を行った。展示会終了後には、出展者にも満足度調査を行っている。調査結果については、分析と考察を行い、展示等の改善につなげている。

また、図1に示すように観覧者の満足度は高く、展示内容とともに効果的な展示を行えたものと考えている。

また、マイミュージアムギャラリーの良さを問う項目では「観覧が無料であること」、「いろいろな作品が見られ、出展者との交流することにより趣味が深められた」に高い満足度を認めることができ、県民相互の文化情報の交流に寄与できたものと考えている。



【図1 観覧者の満足度 (n=468: 平成28年度4月～3月)】

更に、図2から出展者の高い満足度を認めることができる。また、マイミュージアムギャラリーの存在価値を問う項目では、「価値有り」とした回答が多く高評価を得ることができた。

以上の結果から、マイミュージアムギャラリーの運営は、当初の目的を充足したものといえる。しかし、いずれも例年と同様の結果を得たにすぎず、更なる改善が必要であることが明らかとなった。



【図2 出展者の満足度 (n=8: 平成28年度)】

また、平成24年度に出展者支援及び観覧者の満足度向上のために、作品のキャプションや説明文の記述方法についての研究を行った。その結果を平成28年度も展示会に活かしたところ、読み手の読解方略を体系的で利用しやすいキャプションで示すことができた。こういった研究も含め今後も出展者支援や観覧者の満足度向上に努めたい。

カ 平成28年度の出展申し込み

平成29年度出展候補としての平成28年11月までの申込は12件であった。申込みの内容は、コレクションと作品のバランスもよく、様々な年代の観覧者の興味・関心を喚起されることが期待できるものであった。

また、平成27年度から公共施設が行うマイミュージ

アムギャラリーへの移動博物館展示や高校生以下の部活動等による成果発表の場によるU-18ミュージアムを実施し、平成28年度においても好評をいただいた。

キ 平成29年度展示計画及び今後の課題

平成29年度出展候補12件の中からの4件の採用及び1件の移動博物館の計5出展、並びにU-18ミュージアムによる展示を1件についてマイミュージアムギャラリー展示計画懇話会にて会員から意見を聴き決定した。よって、平成29年度は6件の展示を行うこととなった。また、年間をととしての展示内容のバランスを考えて、作品とコレクションの選択数や生涯学習の成果発表の場を提供するために、更なる充実を行うことが今後の課題である。

【マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の構成】

氏名	所属等
浅野 裕司	元岐阜県博物館長
土屋 明之	岐阜県芸術文化会議 会長
村瀬富喜子	関市教育委員会生涯学習課係長
山田 京子	岐阜県博物館 同人
若宮 多門	岐阜県博物館協会会長

(五十音順 敬称略)

② マイ・ミュージアムについて

マイ・ミュージアム棟が開設された平成7年頃はマルチメディアが珍しい時代であったが、現在は一般のパソコン上で動画を編集することさえ特別ではなくなり、マルチメディアの普及や啓発を継続する意義は薄れてきた。他方、昨今の財政難により、機器の更新はもちろん、老朽化した既設機器の維持管理が困難な状況となり、稼働している機器を休止せざるを得なくなった。

しかし、博物館事業において情報通信機器を活用する必要性が失われた訳ではなく、引き続き、情報化が不可欠な分野における機能低下を最小限に食い止め、制約がある中で情報を最大限発信できるよう、システム等の改善や整備に重点を置いた事業を推進する。

ア 収蔵資料データベースの運用

当館では、平成21年度末、全国の博物館や美術館でサーバーを共有するサービス(SaaS)に当館に収蔵されているデータを移行する作業を実施した。そして平成23年度にサービス提供者と利用契約を結集し、インターネット公開を視野に入れた収蔵資料データベースの本格的な運用を開始した。また、風土記については、デジタルアーカイブ事業として平成27年度に静止画閲覧機能を有するシステムを完成した。来館者が利用できるように郷土学習室にPCを配備し来館者の利用に供している。

図書資料のデータベース化については、目標を前倒しにし、平成24年度にデータの移行を完了した。図書担当職員の業務効率の向上のための支援を行っている。また、現物実査の成果をデータベースに登録し、データを精緻化したことで収蔵品を一元管理することが可能となった。備品登録と収蔵資料との整合性も担保された。

学芸員間の研究に資する情報源として利用できるような業務を進めている。その中で、平成27年度は収蔵品の中から研究者や一般の方の利用を想定した収蔵品データベースのホームページを作成し一部公開を行った。公開ページの中に「Pick Up」として当館学芸員の「お薦め資料」と銘打った資料データを公開し、閲覧された方々から高い評価をいただいている。現在550件程の特選収蔵品データとして公開している。研究者等にも利用しやすいものとするため、全件公開に向けてデータの精緻化を行っている。

イ ハイビジョンホールの活用

ハイビジョンホールでは、外部団体の見学や各種講演会・講習会・イベントなどの会場として利用を図るとともに、平成26年度下半期から新たに立ち上げた事業として、「大人のための博物館講座」及び「ミュージアムシアター」を開始した。平成28年度からは講座名を「博物館学芸講座」と改名し県民等からの好評をいただいた。

③ ミュージアム棟活性化事業について

平成28年度は、マイミュージアム活性化事業として以下の3事業を重点的に行った。

ア 開館40周年記念講演会

イ 博物館学芸講座

ウ ミュージアムシアター

1) 「開館40周年記念講演会」は世界的にも著名な研究者を招聘してのハイレベルな講演会としての講演会であり、「博物館学芸講座」は、当館学芸員の研究発表の場として中学生以上を対象にした内容の講演会として実施した。

「開館40周年記念講演会」

- 1回 4月24日(日) 13:30～15:00
広島大学大学院生物圏科学研究科教授
長沼 毅 氏
極限世界からの宇宙生命の可能性を探る
- 2回 5月14日(土) 13:30～15:00
名古屋大学宇宙地球環境研究所教授
伊藤 好孝 氏
地中深くから観る宇宙
～ニュートリノから暗黒物質の正体に迫る～
- 3回 6月19日(日) 13:30～15:00
宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所准教授
岩田 隆浩 氏
小惑星探査機“はやぶさ2”が探る太陽系の謎
～小惑星に水と生命の起源を求めて～
- 4回 8月7日(日) 13:30～15:00
北里大学大学院感染制御科学北里生命科学研究so
微生物応用化学研究室教授 塩見 和朗 氏
スプーン1杯の土が人類を救う
～微生物の力を借りて薬を創る～
- 5回 10月22日(土) 13:30～15:00

岐阜大学大学院医学研究科・再生医科学専攻組織・
器官形成分野准教授 手塚 建一 氏
岐阜しずいプロジェクト
～捨てられる歯から作る iPS 細胞を世界に届ける
ために～

「博物館学芸講座」

- 1回 5月28日(土) 13:30～15:00
内堀 信雄 氏(岐阜市社会教育課課長)
守護所から岐阜城・城下町へ
～土岐・斎藤・織田の城と町～
- 2回 6月11日(土) 13:30～15:00
南本 有紀(当館学芸員)
能の幽霊 世阿弥の作劇法と「幽霊」の造形
- 3回 7月23日(土) 13:30～15:00
山田 昭彦(当館学芸員)
関ヶ原合戦と美濃の諸将
- 4回 8月20日(土) 13:30～15:00
河部壮一郎(当館前学芸員)
恐竜の脳科学 ～脳から探る恐竜の進化～
- 5回 9月10日(土) 13:30～15:00
近藤 大典(当館学芸員)
木簡から見た美濃国諸郡の成立
- 6回 11月12日(土) 13:30～15:00
守屋 靖裕(当館学芸員)
円空仏にみる古仏からの影響
～革新的造形の中に隠れた伝統的造形を探る～
- 7回 11月20日(日) 13:30～15:00
福田 千鶴 氏(九州大学教授)
大坂の陣と美濃
- 8回 12月3日(土) 13:30～15:00
中井 均 氏(滋賀県立大学教授)
美濃の城 ～戦国の城から織田・豊臣の城へ～
- 9回 12月17日(土) 13:30～15:00
説田 健一(当館学芸員)
旅するアカコッコ
～鳥類学黎明期の豪商コレクターの生き様～
- 10回 H28年2月25日(土) 13:30～15:00
服部 創紀(当館学芸員)
小田 隆氏(成安造形大学准教授)
ホネからはじまる恐竜の復元
～アーチストと科学者との共演～
- 11回 3月25日(土) 13:30～15:00
大林達生 氏(中津川鉱物博物館学芸員)
再発見! 恵那山の地質

2) 「ハイビジョンシアター」は、毎週土・日曜日に岐阜県の歴史や伝統文化を紹介した作品や恐竜や自然保護等に関する作品など、優れた映像を上映し、青少年以上の年齢の来館者に郷土に対する理解や自然科学への関心を深め、その魅力を再認識いただく機会を提供することを目的に実施した。

また、祝日には、子供向（幼児・低学年）けに「日本むかし話」と「世界名作童話」を上映し、子供の情操教育に資するとともに親子の会話や団らんの素材としても活用いただけることを目的に実施した。

「ハイビジョンシアター」

ー平成 28 年度ー青少年向け

4 月 大神の郷 揖斐まつり 揖斐川町
恐竜大陸 南アメリカ Discovery

5 月 長良川鵜飼 習俗記録映像（記録版）
岐阜市教育委員会
恐竜大陸 北アメリカ Discovery

6 月 岐阜県の獅子芝居
恵那市獅子芝居映像記録制作委員会
恐竜大陸 ヨーロッパ Discovery

7～8 月
恐竜大陸 アジア Discovery
恐竜大陸 ヨーロッパ Discovery

9 月 瀬戸黒 加藤孝造のわざ 文化庁
恐竜大陸 アジア Discovery

10 月 高山祭（春・秋の高山祭） 高山市教育委員会
恐竜大陸 南アメリカ Discovery

11 月 本美濃紙 平成23年度工芸技術記録映画 文化庁
恐竜大陸 北アメリカ Discovery

12 月 古きをまもる新しき技
ー保存科学への招待ー 元興寺文化財研究所
恐竜再生 Discovery

H 28 年 1 月

白山 祈りと癒しの山 福井県立歴史博物館
よみがえる絶滅動物 マンモス Discovery

2 月 能郷の能・狂言 本巣市
宇宙のはじまりと世界の素 文部科学省

3 月 真桑人形浄瑠璃 本巣市
恐竜大陸 オーストラリア Discovery

ー平成 28 年ー幼児向け

4 月 ①ももたろう
②いっすんぼうし
③うしわかまる
④3 匹の子ぶた
⑤長ぐつをはいた猫
⑥はだかの王様

5 月 ①うらしまたろう
②わらしべ長者
③おむすびころりん
④ピノキオ
⑤みにくいアヒルの子
⑥狼と 7 匹の子やぎ

7 月 ①さるかにがっせん
②かさじぞう
③ぶんぶくちやがま

④白雪姫
⑤マッチ売りの少女
⑥ヘンゼルとグレーテル

9 月 ①かぐやひめ

②はなさかじいさん
③つるのおんがえし
④シンデレラ
⑤フランダースの犬
⑥アラジンと魔法のランプ

10 月 ①一休さん

②かちかちやま
③かもとりごんべえ
④ピーターパン
⑤トムソーヤの冒険
⑥ジャックと豆の木

11 月 ①きんたろう

②こぶとりじいさん
③したきりすずめ
④赤ずきんちゃん
⑤にんぎょ姫
⑥おやゆび姫

12 月 ①ももたろう

②いっすんぼうし
③うしわかまる
④3 匹の子ぶた
⑤長ぐつをはいた猫
⑥はだかの王様

1 月 ①うらしまたろう

②わらしべ長者
③おむすびころりん
④ピノキオ
⑤みにくいアヒルの子
⑥狼と 7 匹の子やぎ

2 月 ①さるかにがっせん

②かさじぞう
③ぶんぶくちやがま
④白雪姫
⑤マッチ売りの少女
⑥ヘンゼルとグレーテル

3 月 ①かぐやひめ

②はなさかじいさん
③つるのおんがえし
④シンデレラ
⑤フランダースの犬
⑥アラジンと魔法のランプ

（全て アストロシステムジャパン（株））

7 資料収集活動

(1) 収蔵資料数

① 人文分野 (平成29年3月31日現在)

分 野	資 料 数 (件)
考 古	461
歴 史	1,397
民 俗	1,648
美 術 工 芸	1,274
合 計	4,780

② 自然分野 (平成29年3月31日現在)

分 野	資 料 数 (件)
動 物	30,643
植 物	90,127
岩 石 鉱 物	2,047
化 石	1,616
合 計	124,433

(2) 平成28年度寄贈資料一覧

① 人文分野 (平成29年3月31日現在)

資 料 名	件数
成木一成 なるき かねなり 砂漠之蛇之図鑄 さばくのへびのずつば	1
成木一成 なるき かねなり 玉鋼 たまはがね	1

② 自然分野 (平成29年3月31日現在)

資 料 名	件数
化石入り岩塊	10
イグアノドン類の歯	2
ティラノサウルス脳モデル	1
ヒラマキウマ下顎骨	1
昆虫(蝶類)標本	2
剥製標本	1

※ 岩石、植物の寄贈はなし

(3) 平成28年度購入資料一覧

① 人文分野 (平成29年3月31日現在)

資 料 名	件数
な し	0

② 自然分野 (平成29年3月31日現在)

資 料 名	件数
恐竜類脳モデル	7
恐竜類透明頭骨モデル	2
カラスの透明頭骨	1

8 教育普及活動

(1) 教育普及活動

① 催し物開催状況

催し物は、体験・鑑賞型の「けんぱく教室（子ども・家族向け）」「県博教室（大人向け）」と、大人向けの各種講演会「開館40周年記念講演会」「特別展・企画展講演会」「移動展講演会」「博物館学芸講座」、三重

県総合博物館（MieMu）との交流企画を、人文、教育普及、マイミュージアムの各係が担当して計78回を実施した（うち中止3回）。

三重県総合博物館（MieMu）との交流企画では、本年度も人文分野、自然分野それぞれ1名、計2名の講師を相互に派遣し、講演会を開催するとともに、体験教室をそれぞれ1回ずつ開催した。

<催し物開催状況一覧>

事業名	期 日	定 員	参 加	内 容
体 験 教 室	4/ 9	30名	7名	学芸員と学ぶ百年公園のチョウ
	4/29	30名	36名	アンモナイトを調べよう
	4/30	各40名	52名	岐阜県博物館移動展ワークショップ「鹿角ストラップをつくろう」
	5/ 1	30名	17名	学芸員と学ぶ百年公園の植物
	5/ 3	50名	88名	竹で機関車笛をつくろう
	5/ 5	30名	47名	かざり結びでストラップをつくろう
	5/15	各40名	43名	岐阜県博物館移動展ワークショップ「水晶ジオード割り」
	5/21	100名	135名	スプリングフェスティバル けんぱくワークショップ
	5/22	100名	233名	スプリングフェスティバル けんぱくワークショップ
	6/19	30名	11名	「和とじ」を使って昔のノートをつくろう
	6/25	30名	21名	古生物のひみつをさがろう～バックヤードツアーと三葉虫ノジュール割り～
	7/24	20名	23名	岐阜県博物館移動展ワークショップ「まが玉をつくろう」
	7/30	30名	27名	開館40周年記念特別展ワークショップ「恐竜を描こう」
	7/30	40名	35名	ナイトミュージアム
	8/ 6	25名	36名	開館40周年記念特別展ワークショップ「恐竜をつくろう」
	8/14	50名	104名	切り紙で動物や恐竜をつくろう
	8/21	30名	26名	まゆ玉で「かわいい動物たち」をつくろう
	9/ 3	70名	99名	サイエンスマジックショーⅡ ～超低温の世界～
	10/ 2	200名	198名	山県市ふるさと栗まつり2016 けんぱくワークショップ
	10/22	100名	162名	オータムフェスティバル けんぱくワークショップ
	10/23	100名	106名	オータムフェスティバル けんぱくワークショップ
	10/30	30名	89名	三重県総合博物館(MieMu)交流企画 体験ワークショップ「化石クリーニングと化石レプリカ作り(三葉虫とアンモナイト)」
	11/ 3	100名	117名	県民文化の日（無料開放日）けんぱくワークショップ
	11/ 3	なし	186名	三重県総合博物館(MieMu)交流企画 体験ワークショップ「自然をモチーフとした工作体験」
	11/ 5	100名	31名	徳山のくらし体験 地獄うどんを食べよう
	11/19	200名	317名	ぎふサイエンスフェスティバル2016 けんぱくワークショップ
	11/27	100名	169名	sekiいきいきフェスタ けんぱくワークショップ
	12/ 4	20名	20名	企画展ワークショップ「ニワトリの頭骨標本をつくろう」
	12/10	30名	22名	クリスタルのひみつ ～水晶ジオード割り体験～
	1/ 7	なし	114名	ちよっと昔の正月遊びを体験しよう
	1/ 7	200名	239名	七草がゆを食べよう
	1/14	30名	中止	学芸員と学ぶ百年公園の冬鳥
講 座 講 演 会	4/23	100名	32名	岐阜県博物館移動展シンポジウム「ひだの自然の魅力を伝えよう」
	4/24	300名	263名	開館40周年記念特別講演会「極限世界から宇宙生命の可能性を探る」
	5/ 1	120名	118名	マイミュージアムギャラリー関連催し物 音で味わう能 ～能楽師による演奏とトーク～
	5/ 7	30名	32名	古文書読解講座①「戦国大名の文書を読み解く」
	5/14	120名	136名	開館40周年記念特別講演会「地球深くから観る宇宙～ニュートリノから暗黒物質の正体に迫る～」
	5/28	120名	104名	博物館学芸講座「守護所から岐阜城へ～土岐・斎藤・織田の館と城」
	5/29	120名	62名	企画展講演会「美濃桃山陶と無形文化財」
	6/ 4	20名	26名	工房見学(郡上本染)
	6/11	120名	73名	博物館学芸講座「能の幽霊 世阿弥の作劇法と「幽霊」の造形」
	6/18	30名	33名	古文書読解講座②「戦国大名の文書を読み解く」
	6/19	120名	115名	開館40周年記念講演会「小惑星探査機“はやぶさ2”が探る太陽系の謎 ～小惑星に水と生命の起源を求めて～」
	7/16	120名	99名	開館40周年記念特別展講演会「手取層群の恐竜たち」

事業名	期 日	定 員	参 加	内 容
講座講演会	7/18	30名	51名	移動展講演会「古墳時代へ ～可児・加茂地域の遺跡から～」
	7/18	20名	31名	マイミュージアムギャラリー関連催し物「和柄木綿のパッチワーク小物入れ作り」
	7/23	120名	131名	博物館学芸講座「関ヶ原合戦と美濃の諸将」
	7/23	20名	37名	マイミュージアムギャラリー関連催し物「和柄木綿のパッチワーク小物入れ作り」
	8/ 7	300名	173名	開館40周年記念講演会「スプーン1杯の土が人類を救う ～微生物の力を借りて薬を創る～」
	8/20	120名	132名	博物館学芸講座「恐竜の脳科学 ～脳から探る恐竜の進化～」
	8/27	120名	89名	開館40周年記念特別展講演会「鳥類学者 無謀にも恐竜を語る」
	8/28	120名	49名	マイミュージアムギャラリー関連催し物「昭和鉄道物語 ～東海地方の鉄道をめぐって～」
	9/10	120名	92名	博物館学芸講座「木簡から見た美濃国諸郡の成立」
	9/11	30名	28名	古文書読解講座③「戦国大名の文書を読み解く」
	9/24	120名	70名	博物館学芸講座「恐竜やデスモスチルスの姿勢を復元してみよう」
	9/25	120名	84名	開館40周年記念特別展講演会「円空の作仏 ～日本美術の周辺故のオリジナリティ～」
	10/ 2	35名	中止	ジオサイトめぐりin岐阜I「中濃編」
	10/ 8	25名	18名	関ヶ原合戦の地を歩く
	10/15	20名	18名	学芸員と訪ねる羽島の円空仏(中観音堂・長間薬師寺)
	10/16	120名	33名	三重県総合博物館(MieMu)交流企画「100年で虫はこれだけ変わる!」
	10/22	120名	98名	開館40周年記念講演会「岐阜しずいプロジェクト～捨てられる歯から作るiPS細胞を世界に届けるために～」
	10/23	120名	117名	開館40周年記念特別展講演会「円空と日本の風土」
	10/23	80名	26名	三重県総合博物館(MieMu)交流企画「日本鳥類黎明期に活躍した動物採集家 ～山階芳麿を支えた折井彪二郎～」
	10/29	80名	59名	三重県総合博物館(MieMu)交流企画「関ヶ原合戦と美濃(仮題)」
	11/ 6	120名	73名	三重県総合博物館(MieMu)交流企画「藤堂高虎の家臣団形成と領国経営 ～関ヶ原合戦以降を中心に～」
	11/12	120名	136名	博物館学芸講座「円空仏にみる古仏からの影響～革新的造形の中に隠れた伝統的造形を探る～」
	11/13	35名	13名	ジオサイトめぐりin岐阜II「東濃編」
	11/20	120名	114名	博物館学芸講座「大坂の陣と美濃」
	11/23	30名	27名	学芸員と見学する美濃金山城の山城遺構
	11/26	20名	16名	日本刀鑑賞講座
	12/ 3	120名	101名	博物館学芸講座「美濃の城 ～戦国の城から織田・豊臣の城へ～」
	12/17	120名	80名	博物館学芸講座「旅するアカコッコ ～鳥類学黎明期の豪商コレクターの生き様～」
	1/22	30名	32名	仏像講座①「仏像入門」
	2/12	20名	中止	岐阜県の無形民俗文化財講座 学芸員と見学する「今尾の左義長」
	2/18	30名	32名	古代武義郡の歴史を学ぶII
	2/25	120名	100名	博物館学芸講座「ホネからはじまる恐竜の復元 ～アーティストと科学者との共演～」
	2/26	30名	29名	仏像講座②「仏像の銘文をくずし字から読み解こう」
	3/25	120名	60名	博物館学芸講座「再発見! 恵那山の地質」
		合 計	6,072名	

② わくわく体験コーナー

わくわく体験コーナーは、日曜日午後を中心に開催している。今年度は、27回開催し、1,139人の参加者があった。体験メニューは、化石取り出し体験、化石レプリカづくり、万華鏡づくり、どんぐり標本づくりを定番とし、季節限定でミニ門松づくり、しじみ雛づくりを実施した。

<わくわく体験コーナー>

実施回数	参加人数	実施メニュー
27	1,139	化石取り出し体験、化石レプリカづくり、万華鏡づくり、どんぐり標本づくり、ミニ門松づくり、しじみ雛づくり

③ 展示解説

常設展示解説は、毎日午前11時と午後2時に解説員により行った。延べ409回、2,968人の参加があった。テーマは、「恐竜の話」、「合掌造りの解説」、「鶺鴒の解説」、「輪中の解説」、「大昔の人々のくらしの解説」、「岐阜の大地の成り立ちの解説」があり、毎日日替わりで実施した。また、企画展等展示解説(ギャラリートーク)は企画展開催中に随時担当学芸員が行った。延べ37回、575人の参加があった。企画展等の展示について掘り下げながら、わかりやすく解説した。

<展示解説>

	実施回数	参加人数	内 容
常設展	409	2,968	解説員による常設展示解説
特別展・企画展	37	575	担当学芸員による企画展展示解説

④ 移動博物館・出張けんぱく教室

移動博物館・出張けんぱく教室は、①遠隔地の県民に県博物館の財産（展示・教育普及事業）を享受する機会を提供すること、②来館者を待つことから、資料や体験教室を持って外へ打って出ることへの転換をはかり、博物館への関心を今一度呼び戻す方途とすること、③子どもや若者が多く集う岐阜市の施設においても開催することで、主として青少年等の若い世代に当館に対する関心を高めもらう機会とすることを目的としている。なお、「移動博物館」とは、事業の実施主体は他館であるが、展示資料のうち当館の資料が占める割合が半分以上で、当館の共催や協力で開催した展覧会と、教育普及的な展示に体験教室を組み合わせたもので、自治体や団体が実施するイベントで、当館が共催・協力により実施するもののことをいう。また、「出張けんぱく教室」とは、自治体や団体が実施するイベントで、当館が共催・協力により実施するものである。

<移動博物館>

※他館が企画・運営主体の展覧会 → ◎、教育普及的色彩の濃い展示（＋体験教室） → ☆

	実施時期	内容	内 容	開催地	種別	参加者数（人）
1	H28/4/28 ～ 5/10 (13 日間) ◎	展示	身近な野鳥展 カラス～人とのつながり～	河川環境楽園自然発見館 体験工房	共催	2,090
2	H28/7/28 ～ 10/17 (82 日間) ◎	展示	第 21 回特別展示 「『里川』長良川の生き物たち」	長良川鶴飼伝承館 長良川うかいミュージアム	共催	6,054
3	H28/11/27 ※第 24 回 SEKI いきいき フェスタ 2016 ☆	展示	移動展示「県内産出の化石と鳥の標本」	関市わかさプラザ	協力	169
		体験	化石取り出し体験			
計						8,313

<出張けんぱく教室>

	実施時期	内容	内 容	開催地	種別	参加者数（人）
1	H28/10/4 ※山県市ふるさと栗まつり 2016	体験	化石取り出し体験	四国山香りの森公園	協力	198
2	H28/11/19 ※ぎふサイエンスフェスティバル 2016	体験	化石レプリカづくり	岐阜市文化センター	協力	317
3	H29/2/25 ※GIFU ワークショップ ギャザリング vol.2	体験	化石取り出し体験	岐阜清流文化プラザ	協力	210
計						725

⑤ 団体利用

団体利用は、187団体、10,351人で、下表のとおりである。美濃地区、岐阜地区、西濃地区、愛知県北部（一宮市、稲沢市、江南市）の小学校や、博物館近隣の幼稚園・保育園の利用が多い。

学習活動では、生活科との関連を重視し、百年公園の自然を活用した「秋みつけ」や「秋のおもちゃづくり」などの体験活動を多く実施した。

展示では、人文展示室1の「郷土の百年」コーナーを活用し、小学生の社会科の学習「古い道具と昔の暮らし」に対応した解説を行った。

今年度は、「秋みつけ」「秋のおもちゃづくり」「昔の暮らし体験」などの体験活動において、博物館サポーターの協力を依頼し、活動の準備や片付け、子どもへの指導や声かけなどの支援を実施した。

<平成28年度 団体利用一覧>

月	日	曜	所在地	学 校 団 体	対象	人数	活動内容
4	8	金	関市	岐阜県警察学校	初任科生	134	展示解説
4	9	土	美濃加茂市	デイサービス てくてく	小中学生	12	自由観覧
4	14	木	北海道	帯広岐阜県人会	一般	20	自由観覧
4	17	日	美濃加茂市	カモミールの会	一般	16	自由観覧
4	22	金	関市	岐阜県博物館協会	一般	6	施設利用
4	27	水	関市	岐阜県博物館協会	一般	18	施設利用
5	3	火・祝	各務原市	NPO法人ふれあいの森自然学校	一般	19	施設利用
5	6	金	愛知県(北名古屋市)	五条小学校	小2年	75	展示解説・展示セルフガイド・映像鑑賞
5	6	金	愛知県(稲沢市)	いなざわ特別支援学校	中等部	98	自由観覧
5	10	火	関市	安桜小学校	特別支援学級	20	自由観覧
5	12	木	関市	岐阜県博物館友の会	一般	16	施設利用
5	13	金	岐阜市	岐阜県総合教育センター	教員	6	博物館活用講座
5	14	土	岐阜市	林政部 恵みの森づくり推進課	一般	55	ぎふ木育指導者養成研修
5	14	土	岐阜市	黒野スポーツ少年団	小学生	28	自由観覧
5	15	日	関市	小屋名子ども会	小1～6年	92	展示解説・展示セルフガイド
5	17	火	愛知県(犬山市)	犬山総合動物学院	高校生	6	展示解説・化石レプリカ作り
5	17	火	岐阜市	芥見東小学校	小6年	85	学芸員による遺跡の話 展示セルフガイド
5	18	水	郡上市	郡上特別支援学校	小学部	15	自由観覧
5	19	木	岐阜市	グループホーム樺の実	一般	21	自由観覧
5	20	金	関市	金竜小学校	小3年	149	里山オリエンテーリング
5	22	日	岐阜市	岐阜保健短期大学	大学生	123	施設利用・自由見学
5	24	火	愛知県(小牧市)	本庄小学校	小5年	134	展示セルフガイド
5	24	火	愛知県(稲沢市)	下津小	小3年	163	展示解説・洗濯体験 展示セルフガイド・化石レプリカ作り
5	24	火	愛知県(北名古屋市)	師勝西小学校	小3年	112	展示解説・展示セルフガイド
5	25	水	岐阜市	岐阜県小中学校教育研究会 小学校社会科部会	教員	54	施設利用
5	26	木	関市	桜ヶ丘小学校	小2年	82	展示解説・展示セルフガイド
5	27	金	愛知県(稲沢市)	丸甲小学校	小1～6年	157	展示解説・展示セルフガイド
5	27	金	関市	桜ヶ丘小学校	小1年	79	展示解説・展示セルフガイド
5	27	金	関市	金竜小学校	小1年	144	春みつけ
6	7	火	岐阜市	中濃地区理科担当者会議(生物部会)	教員	13	施設利用
6	8	水	関市	富岡小学校	小2年	81	化石レプリカ作り・展示解説・展示セルフガイド
6	8	水	美濃加茂市	蜂屋小学校	小3年	100	里山オリエンテーリング・ギフチョウの話・展示セルフガイド
6	8	水	岐阜市	岐阜県総合教育センター	教員	55	理科教育講座
6	9	木	岐阜市	岐阜県高等学校 地理歴史公民科担当者会議	教員	109	施設利用
6	10	金	美濃市	美濃ふたば幼稚園	年長	53	自由観覧
6	10	金	愛知県(名古屋市)	名古屋教育文化センター	幼児	40	自由観覧
6	16	木	関市	旭ヶ丘小学校	小4年	57	展示解説・展示セルフガイド
6	21	火	関市	岐阜県小中学校教育研究会 小中学校英語部会	教員	90	施設利用
6	22	水	関市	富岡小学校	小6年	31	展示解説
6	23	木	岐阜市	岐阜県小中学校教育研究会 中学校社会科部会	教員	48	施設利用
6	26	日	高山市	岐阜県オリエンテーリング教会	一般	20	施設利用
6	28	火	愛知県(名古屋市)	NPO法人東海自然学園	一般	30	自由観覧・展示解説
7	5	火	関市	岐阜県百年公園	一般	20	施設利用
7	12	火	愛知県(犬山市)	犬山北小学校	小5年	86	展示解説・展示セルフガイド
7	14	木	愛知県(犬山市)	楽田小学校	小5年	120	自由観覧
7	15	金	愛知県(一宮市)	平安幼稚園	年長	125	展示セルフガイド
7	20	水	垂井町	宮代公民館	一般	28	自由観覧
7	22	金	美濃市	清泰保育園	年長	21	自由観覧
7	23	土	関市	中部学院大学	大学生	38	自由観覧
7	24	日	岐阜市	岐阜県環境生活部 自然環境保全課	一般	84	施設利用
7	27	水	岐阜市	長良医療センター	一般	13	自由観覧
7	28	木	関市	岐阜県博物館 団体利用説明会	教員	33	博物館利用計画立案
7	29	金	関市	岐阜県博物館 団体利用説明会	教員	16	博物館利用計画立案
7	29	金	坂祝町	遊々保育園	幼児	29	自由観覧
8	3	水	山県市	山県市教育研究会 小学校社会科部会	教員	12	施設利用 自由観覧
8	5	金	岐阜市	かぐや第一・第三幼稚園	年長	54	展示解説 展示セルフガイド
8	19	金	山県市	山県市教育研究会 中学校社会科部会	教員	8	展示見学 バックヤード見学
8	23	火	関市	岐阜県博物館 団体利用説明会	教員	44	博物館利用計画立案
8	24	水	関市	岐阜県博物館 団体利用説明会	教員	22	博物館利用計画立案
9	7	水	愛知県(春日井市)	石尾台中学校	中2年	136	展示セルフガイド
9	11	日	高山市	岐阜県オリエンテーリング教会	一般	77	施設利用
9	16	金	岐阜市	岐阜県総合教育センター	教員	24	理科教育講座
9	25	日	愛知県(名古屋市)	ガンダーラの会	一般	20	自由観覧

月	日	曜	所在地	学 校 団 体	対 象	人数	活動内容
9	27	火	愛知県（一宮市）	一宮円空会	一般	34	自由観覧
9	27	火	関市	下有知小学校	小3年	58	展示セルフガイド
9	30	金	瑞穂市	西小学校	小1年	45	秋みつけ・工作体験
9	30	金	岐阜市	早田小学校	小1年	72	展示セルフガイド・秋みつけ
10	2	日	高山市	ふるさと歴史館	一般	27	自由観覧
10	4	火	関市	富野小学校	小1・2年	30	展示セルフガイド・秋みつけ・工作体験
10	4	火	関市	武義西小学校	小1～3年	26	里山オリエンテーリング・工作体験
10	4	木	各務原市	各務小学校	小1年	36	展示セルフガイド・工作体験
10	5	水	大野町	西小学校	小3年	0	台風接近のためキャンセル
10	5	水	関市	田原小学校	小2年	0	台風接近のためキャンセル
10	5	水	岐阜市	長良医療センター	一般	14	自由観覧
10	6	木	関市	富岡小学校	小1年	105	秋みつけ・展示セルフガイド
10	6	木	愛知県（一宮市）	大和南小学校	小3年	48	展示解説・展示セルフガイド
10	6	木	愛知県（一宮市）	大徳小学校	小3年	83	展示セルフガイド
10	6	木	岐阜市	合渡小学校	小2年	76	展示解説・展示セルフガイド
10	7	金	関市	武芸小学校	小1・2年	39	展示セルフガイド・展示解説・工作体験
10	7	金	関市	南ヶ丘小学校	小1・2年	40	映像鑑賞・展示セルフガイド・展示解説 秋みつけ
10	7	金	中津川市	福岡小学校	小4年	28	映像鑑賞・展示セルフガイド
10	7	金	岐阜市	長良東小学校	小1年	105	展示セルフガイド・秋みつけ・工作体験
10	7	金	愛知県（稲沢市）	稲沢東小学校	小3年	122	展示解説・展示セルフガイド
10	9	日	関市	岐阜県警察学校	初任科生	17	展示解説
10	12	水	関市	田原小学校	小1年	56	秋みつけ・展示セルフガイド・展示解説
10	12	水	七宗町	上麻生小学校	小1・2年	26	秋みつけ・展示セルフガイド・展示解説 工作体験
10	12	水	大野町	北小学校	小1年	36	秋みつけ・展示セルフガイド・展示解説
10	12	水	大垣市	小野小学校	小2年	166	展示解説・展示セルフガイド
10	13	木	関市	上之保小学校	小1・2年	17	展示セルフガイド・秋みつけ
10	13	木	中津川市	付知北小学校	小3年	48	展示セルフガイド
10	13	木	関市	武儀東小学校	小1～3年	38	里山オリエンテーリング・秋みつけ 展示セルフガイド・展示解説・工作体験
10	13	木	愛知県（江南市）	古知野北小学校	小2年	92	展示解説・展示セルフガイド
10	13	木	愛知県（江南市）	草井小学校	小2年	78	展示セルフガイド・映像鑑賞
10	14	金	大野町	大野小学校	小4年	68	展示解説・展示セルフガイド
10	14	金	大垣市	墨俣小学校	小1年	40	秋みつけ・展示解説・展示セルフガイド
10	14	金	関市	博愛小学校	小1・2年	70	展示解説・展示セルフガイド・秋みつけ
10	14	金	岐阜市	中部学院大学短期大学部附属幼稚園	年長	71	展示セルフガイド
10	14	金	中津川市	落合小学校	小3年	39	展示セルフガイド
10	15	土	大垣市	どろんこ子どもクラブ	小学生	23	自由観覧
10	18	火	関市	倉知小学校	小2年	78	展示解説・映像鑑賞・展示セルフガイド
10	18	火	富加町	富加小学校	小1年	67	展示解説・展示セルフガイド・秋みつけ
10	19	水	関市	洞戸小学校	小1・2年	30	秋みつけ・展示セルフガイド・展示解説
10	19	水	可児市	今渡北小学校	小1年	151	展示解説・展示セルフガイド・秋みつけ
10	19	水	中津川市	加子母小学校	小4年	27	展示解説・展示セルフガイド
10	19	水	掛斐川町	春日小学校	小3・4年	9	展示セルフガイド・展示解説・化石レプリカ作り
10	19	水	美濃市	中央公民館	一般	32	自由観覧
10	20	木	愛知県（岩倉市）	曾野小学校	小2年	116	展示セルフガイド・展示解説
10	20	木	岐南町	岐南東小学校	小1年	101	展示解説・展示セルフガイド
10	20	木	山県市	はなぞの北幼稚園	年長	30	展示セルフガイド
10	21	金	岐阜市	城西小学校	小1年	65	秋みつけ
10	21	金	関市	倉知小学校	小1年	72	秋みつけ
10	25	火	関市	寺尾小学校	小1・2年	14	秋みつけ・展示セルフガイド・展示解説
10	25	火	関市	下有知小学校	小1年	69	秋みつけ・工作体験
10	25	火	大野町	大野東小学校	小3年	50	展示解説・展示セルフガイド
10	25	火	美濃市	中有知小学校	小1年	29	秋みつけ・工作体験・展示解説・展示セルフガイド
10	26	水	関市	瀬尻小学校	小1年	75	秋みつけ・工作体験
10	26	水	八百津町	和知小学校	小1・2年	61	秋みつけ・展示セルフガイド
10	26	水	岐阜市	長良医療センター A2病棟	一般	12	自由観覧
10	26	水	岐阜市	岐阜県総合教育センター	教員	6	博物館活用講座
10	27	木	関市	旭ヶ丘小学校	小1年	49	秋みつけ・工作体験・展示セルフガイド
10	27	木	大野町	大野南小学校	小5年	50	展示解説・展示セルフガイド
10	27	木	愛知県（稲沢市）	六輪小学校	小2年	51	展示解説・展示セルフガイド・秋みつけ
10	27	木	岐阜市	岐阜県総合教育センター	教員	30	理科教育講座
10	28	金	関市	旭ヶ丘小学校	小2年	50	展示セルフガイド・工作体験
10	28	金	笠松町	松枝小学校	小2年	123	秋みつけ・展示セルフガイド
10	28	金	海津市	海西小学校	小4年	20	展示セルフガイド
10	28	金	関市	関保育園	年長	35	展示セルフガイド

月	日	曜	所在地	学 校 団 体	対象	人数	活動内容
11	2	水	岐阜市	岐阜県総合教育センター	教員	20	理科教育講座
11	2	水	関市	板取小学校	小1・2年	9	展示解説・展示セルフガイド・工作体験
11	2	水	関市	安桜小学校	小2年	81	秋みつけ・展示解説・展示セルフガイド
11	2	水	可児市	旭小学校	小2年	84	秋みつけ・展示解説・展示セルフガイド
11	2	水	笠松町	下羽栗小学校	小1・2年	109	秋みつけ・展示解説・展示セルフガイド
11	2	水	美濃市	大矢田小学校	小1・2年	38	展示解説・展示セルフガイド
11	4	金	各務原市	中央小学校	小1年	72	秋みつけ・展示解説・展示セルフガイド
11	4	金	岐阜市	常盤保育園	年中	36	展示解説
11	4	金	岐阜市	岐阜県総合教育センター	教員	21	理科教育講座
11	5	土	岐阜市	岐阜県教育委員会 学校支援課	高校生	89	施設利用（科学の甲子園岐阜県大会）
11	5	土	長野県（安曇野市）	安曇野市豊科郷土博物館	一般	39	自由観覧
11	8	火	笠松町	笠松小学校	小1年	26	展示セルフガイド・映像鑑賞
11	8	火	岐南町	岐南西小学校	小1年	83	秋みつけ
11	9	水	各務原市	鶴沼第一小学校	小1年	120	秋みつけ
11	10	木	岐阜市	日野小学校	小1年	73	秋みつけ・展示解説・展示セルフガイド・映像鑑賞
11	12	土	岐阜県	円空連合	一般	34	自由観覧
11	12	土	東京都	朝日旅行	一般	23	自由観覧
11	15	火	岐阜市	岐阜県小中学校教育研究会 小中学校英語部会	教員	86	施設利用
11	15	火	岐阜市	鷺山小学校	小1年	93	展示解説・展示セルフガイド・工作体験
11	15	火	可児市	東明小学校	小2年	43	展示解説・展示セルフガイド・工作体験
11	16	水	関市	金竜小学校	小1年	147	秋みつけ
11	17	木	岐阜市	則武小学校	小1年	76	秋みつけ・展示解説・展示セルフガイド
11	17	木	岐阜市	岐阜県総合教育センター	教員	5	博物館活用講座
11	18	金	岐阜市	本荘小学校	小1年	115	展示解説・展示セルフガイド
11	22	火	笠松町	笠松保育園	年長	33	展示セルフガイド
11	25	金	関市	百年公園運営協議会	一般	17	施設利用
11	29	火	関市	田原小学校	小2年	59	秋みつけ・展示解説
11	30	水	岐阜市	岐阜県教育委員会 社会教育文化課	一般	47	記念物保護担当者連絡会議
12	1	木	岐阜市	岐阜県教育委員会 学校支援課	教員	100	施設利用
12	3	土	岐阜市	県職員退職者協議会	一般	20	自由観覧
12	7	水	岐阜市	長良医療センター A2病棟	一般	12	自由観覧
12	8	木	大野町	西小学校	小3年	33	展示解説・展示セルフガイド
12	11	日	愛知県（名古屋市）	科学研究費補助金による研究会	一般	9	施設利用
1	11	水	愛知県（名古屋市）	トリニティインターナショナルスクール	小学生	32	自由観覧
1	20	金	愛知県（名古屋市）	トリニティインターナショナルスクール	幼児	40	自由観覧
1	27	金	関市	富野小学校	小3年	18	展示解説・展示セルフガイド・ギフトショウの話
1	27	金	岐阜市	岐阜県総合教育センター	教員	78	科学教育シンポジウム
1	27	金	愛知県（名古屋市）	トリニティインターナショナルスクール	幼児	33	自由観覧
1	28	土	岐阜市	岐阜県立岐山高等学校	高校生	11	課題研究
2	2	木	関市	金竜小学校	小3年	147	展示解説・昔のくらし体験
2	10	金	関市	中部学院大学・中部学院大学短期大学附属 桐が丘幼稚園	年長	65	自由観覧
2	19	日	岐阜市	林政部 岐阜県めぐみの森づくり推進課	一般	14	里山安全講習会
2	21	火	岐阜市	岐阜県小中学校教育研究会 小学校社会科部会	教員	60	施設利用
2	23	木	岐阜市	岐阜県教育委員会 体育健康課	教員	105	県保健担当者会議
2	23	木	美濃加茂市	加茂野保育園	年長	54	展示セルフガイド
2	25	土	岐阜市	林政部 岐阜県めぐみの森づくり推進課	小・中学生	74	岐阜県みどりの少年団活動発表大会
2	28	火	美濃加茂市	太田第二保育園	年中・年長	50	展示解説・展示セルフガイド
3	1	水	美濃加茂市	山手小学校	特別支援学級	15	自由観覧
3	1	水	東京都	國學院大学	大学生	30	自由観覧
3	2	木	美濃加茂市	古井第二保育園	年長	35	展示解説・自由観覧
3	2	木	美濃加茂市	太田第一保育園	年中・年長	32	展示解説・自然セルフガイド
3	3	金	関市	虹ヶ丘幼稚園	年長	86	展示解説・映像鑑賞・展示セルフガイド
3	7	火	関市	中部学院大学・中部学院大学短期大学附属 桐が丘幼稚園	年中	67	展示解説・自由観覧
3	7	火	関市	岐阜県博物館協会	一般	19	施設利用
3	10	金	美濃加茂市	蜂屋保育園	年少～年長	85	展示解説・自由観覧
3	10	金	美濃加茂市	山之上保育園	年少～年長	49	展示解説・展示セルフガイド
3	10	金	関市	小金田保育園	年少～年長	149	自由観覧
3	11	土	奈良県	魚類自然史研究会	一般	43	研究発表会
3	12	日	奈良県	魚類自然史研究会	一般	40	研究発表会
3	14	火	美濃加茂市	教育センター教育支援教室（あじさい教室）	小1～6年	17	化石レプリカ作り・展示セルフガイド

学校団体（幼保含む）	111団体	7,426
学校以外の団体	76団体	2,925
合計	187団体	10,351

⑥ 出前授業・講師派遣

出前授業の実施回数は19回（そのうち小中学校16回）であった。また、講師に招聘されたのは17回であった。招聘先としては各種団体が中心で、職員研修、地域学習、生涯学習の場として、様々な目的に活用されていた。

<出前授業>

期 日	用 務 先	対象児童等	人数	会 場	授 業 内 容
平成28年 5月13日	美濃市立藍見小学校	小4	23	美濃市立藍見小学校	ウシモツゴについて
平成28年 5月13日	美濃市立大矢田小学校	小4	20	美濃市立大矢田小学校	ウシモツゴについて
平成28年 9月13日	関市立旭ヶ丘小学校	小5	61	津保川	カワゲラウォッチング
平成28年10月14日	関市立富岡小学校	小4	83	関市立富岡小学校	ウシモツゴについて
平成28年12月 3日	美濃市立美濃小学校	小6	28	美濃市立美濃小学校	大地のつくり
平成29年 3月 7日	関市立瀬尻小学校	小4	75	関市立瀬尻小学校	長良川と外来魚について
平成28年10月 8日	関市立下有知小学校	小1～6年・保護者	92	関市立下有知小学校	化石レプリカづくり・ポスターでエコバックづくり
平成29年 2月 9日	岐阜県立海津明誠高等学校	普通科2年 文系	99	岐阜県立海津明誠高等学校	岐阜県の文化遺産について 大垣祭を中心に（高校日本史B）
			回数	481	

<講師派遣>

期 日	依 頼 元	対象児童等	人数	授 業 内 容
平成28年 5月12日	岐阜市立長森南小学校	小5	145	金華山の生物について
平成28年 5月13日	岐阜県教育委員会教育研修課	教員	4	博物館活用講座
平成28年 5月19日	岐阜県教育委員会学校支援課	教員	15	講演「岐阜県の地質について」
平成28年 5月24日	岐阜市立梅林小学校	小5	23	金華山の生物について
平成28年 6月18日	加茂郡七宗町	一般	35	ほたるの観察会
平成28年 7月14日	山県市役所 産業課	一般	7	カタクリ移殖調査
平成28年 7月28日	岐阜県教育委員会教育研修課	教員	94	幼稚園等新規採用教員研修「自然観察を生かした指導」
平成28年8月4, 11日	瑞浪市化石博物館	小学生以上	49	夏の化石教室
平成28年7月28, 30日	トヨタ白川郷自然学校	小4～6	33	恐竜の眠る秘境キャンプ
平成28年 8月 9日	山県市役所 産業課	一般	7	カタクリ移殖調査
平成28年10月 1日	岐阜県立加茂高等学校	美術部	10	鳥類の体の構造について
平成28年10月26日	岐阜県教育委員会教育研修課	教員	4	博物館活用講座
平成29年 1月21日	関市教育委員会	一般	84	講演「星の見かた、調べ方」
平成28年 7月28日	揖斐川町教育委員会	小学生	25	揖斐川歴史民俗資料館
平成28年 7月29日	揖斐川町教育委員会	小学生	28	揖斐川歴史民俗資料館
平成28年 8月18日	関ヶ原町	一般	82	関ヶ原町ふれあいセンター
平成28年10月 6日	中部労働者福祉協議会	一般	90	岐阜市リソルホテル
平成28年12月 3日	名古屋地理学会	研究者・一般	50	ルブラ王山
平成29年 2月26日	輪之内町	一般	220	輪之内町町民会館
平成28年10月 8日	山県市社会教育文化課	一般	62	四国山香りの森公園および周辺
			1,067	

⑦ 資料貸し出し

分野	機 関 名	資 料 名	貸出開始期日	貸出終了期日	点数
人 文	中津川市立図書館	週刊少国民 他戦時中の児童雑誌	平成28年 7月27日	平成28年 9月 1日	15
	地域間・多様な交流グループ	葉津文楽資料写真	平成28年 5月22日		1
	済法寺	木造十一面観音立像（レプリカ）他	平成28年 5月 1日	平成29年 4月30日	5
	スローハンド	歌川国芳筆「木曾街道六十九次之内 奈良井 おろく 善吉」（ボジ）	平成28年 5月 8日	平成28年 5月19日	1
	大阪大学総合学術博物館	歌川国芳筆「木曾街道六十九次之内 京都 鶴 大尾」（ボジ）	平成28年 6月 1日	平成28年 6月30日	1
	ファミリーマガジン	揚斎延一・延重筆 「真書太閤記 本能寺焼討之図」（画像）	平成28年 6月27日	平成28年 7月26日	1
	第一学習社	歌川国芳筆「木曾街道六十九次之内 熱川 武内宿禰 弟甘美内宿禰」（ボジ）	平成28年 7月27日	平成28年 8月25日	1
自 然	NPO法人生態教育センター木曾三川事務所	鳥剥製	平成28年 4月29日	平成28年 5月 8日	24
	各務原市立蘇原保育園	ほ乳類剥製	平成28年 5月26日	平成28年 5月29日	4
	岩手県立博物館	化石標本	平成28年 5月26日	平成28年 9月 2日	8
	ミュージアム関ヶ原	昆虫標本	平成28年 6月20日	平成28年 8月31日	9
	岐阜市立鏡島小学校	昆虫標本	平成28年 6月22日	平成28年 7月 3日	7
	岐阜市長良川鵜飼伝承館	タヌキ剥製	平成28年 7月26日	平成28年10月19日	14
	河野純（個人）	美濃隕石画像	平成28年 8月18日	平成28年 8月31日	6
	ミュージアム関ヶ原	鳥類標本	平成28年 8月20日	平成28年11月17日	6
	岐阜県立岐山高等学校	化石レプリカ製作キット	平成28年 8月27日	平成28年 9月11日	20
	朝日放送 報道局	今村式2倍強震計動画	平成28年 9月 1日	平成28年 9月 4日	1
	関市立小金田中学校	ほ乳類骨格標本	平成28年 9月 8日	平成28年 9月15日	14
	有限会社 ハユマ編集部	アオサギ骨格断面画像	平成28年9月15日	平成28年10月14日	1
	高山市立花里小学校	化石レプリカ製作キット	平成28年 9月24日	平成28年10月 1日	30
	岐阜市立厚見中学校	ほ乳類骨格標本	平成28年 9月25日	平成28年10月 1日	14
	岐阜県立加茂高等学校	鳥類標本	平成28年10月 1日	平成28年10月23日	3
	可児市立蘇南中学校	脊椎動物骨格標本	平成28年10月21日	平成28年11月 7日	5
	下呂市立金山中学校	始祖鳥レプリカ	平成28年10月24日	平成28年10月29日	1
	岐阜県立飛騨神岡高等学校	化石レプリカ製作キット	平成29年 1月 6日	平成29年 1月27日	40
	稲沢市立稲沢西中学校	化石レプリカ製作キット	平成29年 1月29日	平成29年 2月 5日	40
	大垣市立小野小学校	化石レプリカ製作キット	平成29年 2月11日	平成29年 2月19日	55
	美濃市立美濃小学校	化石レプリカ製作キット	平成29年12月 3日	平成28年12月10日	30
	可児市立蘇南中学校	化石レプリカ製作キット	平成29年 3月13日	平成29年 3月25日	40
合 計					537

⑧ 刊行物

名 称		発行年月日	判、頁	部 数	備 考
岐阜県博物館報第39号		28. 4. 1	A4 38頁	800	
岐阜県博物館調査研究報告第37号		29. 3. 31	A4 30頁	600	
平成28年度岐阜県博物館催し物案内	リーフレット	29. 3. 31	A4 4ツ折	40,000	
【企画展刊行物】					
ひだの自然	ポスター	28. 4. 13	B2	1,400	
ひだの自然	リーフレット	28. 4. 13	A4 両面	28,000	
伝統と創造 岐阜県重要文化財のわざと美	ポスター	28. 4. 23	B2	1,400	
伝統と創造 岐阜県重要文化財のわざと美	リーフレット	28. 4. 23	A4 両面	32,000	
伝統と創造 岐阜県重要文化財のわざと美	子どもガイド	28. 4. 23	A4 両面	350	
伝統と創造 岐阜県重要文化財のわざと美	図録	28. 4. 23	A4 78	400	
弥生から古墳へ～可見・加茂地域の墳墓と集落～	ポスター	28. 6. 25	B2 78頁	1,100	
弥生から古墳へ～可見・加茂地域の墳墓と集落～	リーフレット	28. 6. 25	A4 両面	22,000	
新・恐竜学 ～鳥になった恐竜の脳科学～	ポスター	28. 7. 8	B2	2,100	
新・恐竜学 ～鳥になった恐竜の脳科学～	リーフレット	28. 7. 8	A4 両面	110,000	
新・恐竜学 ～鳥になった恐竜の脳科学～	子どもガイド	28. 7. 8	A4 両面	4,025	
新・恐竜学 ～鳥になった恐竜の脳科学～	図録	28. 7. 8	A4 68頁	600	
東海地方の円空仏	ポスター	28. 9. 23	B2	2,100	
東海地方の円空仏	リーフレット	28. 9. 23	A4 両面	106,000	
東海地方の円空仏	図録	28. 9. 23	A4 72頁	600	
あなたが知らない鳥の世界	ポスター	28. 11. 26	B2	1,400	
あなたが知らない鳥の世界	リーフレット	28. 11. 26	A4 両面	20,800	
古生物の復元画	ポスター	29. 2. 11	B2	1,350	
古生物の復元画	リーフレット	29. 2. 12	A4 両面	22,800	
【マイ・ミュージアム刊行物】					
マイ・コレクション第160号	リーフレット	28. 4. 9	A4 両面	1,500	
マイ・コレクション第161号	リーフレット	28. 5. 21	A4 両面	1,500	
マイ・コレクション第162号	リーフレット	28. 7. 2	A4 両面	1,500	
マイ・コレクション第163号	リーフレット	28. 8. 6	A4 両面	1,500	
マイ・コレクション第164号	リーフレット	28. 9. 17	A4 両面	1,500	
マイ・コレクション第165号	リーフレット	28. 10. 29	A4 両面	1,500	
U-18ミュージアム第1回	リーフレット	28. 12. 6	A4	200	
U-18ミュージアム第2回	リーフレット	28. 12. 20	A4	200	
マイ・コレクション第166号	リーフレット	29. 1. 14	A4 両面	1,500	
マイ・コレクション第167号	リーフレット	29. 2. 18	A4 両面	1,500	
マイミュージアムギャラリー	ポスター	29. 3. 31	B2	1,600	
マイミュージアムギャラリー	リーフレット	29. 3. 31	A4 両面	14,000	

⑨ 図書館資料（平成29年3月末現在）

	図 書 資 料 数	備 考
一 般 資 料	21,866	含 刀剣文庫
郷 土 資 料	5,797	
児 童 書	1,044	
博 物 館 資 料	5,502	含 当館資料、棚橋文庫、熊田文庫
合 計	34,209	

(2) 広報活動

来館者の増加を目指して、広報活動の充実を図った。

① 館外掲示の活用

博物館入口前、百年公園北口及び南口の掲示物ケース内に直近の催し物情報を掲示し、百年公園来園者の当館への誘導のための掲示を行った。また、特別展・企画展開催中であることをポスターを用いて百年公園内にアピールすることに努めた。

② 情報誌の積極的な活用

県内及び近隣の県に発行している情報誌に、招待券を読者プレゼントコーナーに掲載してもらった。自身で応募していることもあり、手にされた招待券の多くは活用されている。

③ 情報配信メールの活用

情報配信リストに登録された方に、催し物や講演会の情報を提供した。催し物や講演会の面白さや意義を伝えることで、参加者の増加につながった。

(3) 博物館実習

7月20日(水)から7月24日(日)までの5日間、岐阜大学(7名)、名城大学(2名)、岐阜女子大学(2名)、八州学園大学(1名)、愛知淑徳大学(1名)の5大学から13名の学生を受け入れた。分野別の受け入れ状況は、人文8名、自然2名、教育普及3名であった。実習内容は下記のとおりである。

〈実習内容〉

第1日目	実習開始式 館長講話 岐阜県博物館の概要・博物館学芸員の仕事 人文展示室観覧 自然担当の仕事・自然資料の概要 教育普及担当の仕事 デジタルアーカイブの概要 館内施設見学 マイミュージアムギャラリーの観覧
第2日目	企画展観覧 人文担当の仕事・人文資料の概要・自然展示室観覧 分野別実習
第3日目	分野別実習
第4日目	分野別実習
第5日目	分野別実習

(4) 教員のための博物館の日

今年度より、平成20年度から国立科学博物館で始まった「教員のための博物館の日」を開催した。

3日間開催予定で、2日間開催し、合計39名が参加した。中止となったのは、参加者が最少催行人数(10名)に満たなかったためである。開催日程と実施内容は以下の通りである。

(開催日程)

	期 日	参加人数
1日目	8月9日(火)	18名
2日目	8月10日(水)	中止
3日目	8月11日(木)	21名

(実施内容)

午前	実習開始式 常設展・特別展・バックヤード解説
午後	展示を利用したプログラム提案 授業で活用できる資料や講座紹介 まとめ

(5) 三重県総合博物館(MieMu)との交流事業

今年度は、互いに職員が出向いて講演会や体験ワークショップを行った。

(実施内容) 平成28年度

岐阜県博物館	【三重県総合博物館(MieMu)からの派遣】
・講演会(10/16)「100年で虫はこれだけ変わる！」 講師：大島 康宏(三重県立総合博物館学芸員)	
・講演会(11/6)「藤堂高虎の家臣図形成と領国経営 ～関ヶ原合戦以降を中心に～」 講師：藤谷 彰(三重県総合博物館学芸員)	
・体験ワークショップ(11/3) 「自然をモチーフとした工作体験(ゆらゆらちようちよ)」 講師：三重県総合博物館ミュージアム・パートナー	
三重県総合博物館(MieMu)	【岐阜県博物館からの派遣】
・講演会(10/23)「日本の鳥学黎明期に活躍した動物採集家 ～山階芳麿を支えた折居彪二郎～」 講師：説田 健一(岐阜県博物館学芸員)	
・講演会(10/29)「関ヶ原合戦と美濃」 講師：山田 昭彦(岐阜県博物館学芸員)	
・体験ワークショップ(10/30)「化石取り出し体験」	

(参考) 平成27年度

岐阜県博物館	【三重県総合博物館(MieMu)からの派遣】
・講演会(11/7)「化石から探る日本列島の哺乳類相の起源」 講師：中川 良平(三重県立総合博物館学芸員)	
・体験ワークショップ(11/3) 「自然をモチーフとした工作体験(オオサンショウウオの紙工作)」	
三重県総合博物館(MieMu)	【岐阜県博物館からの派遣】
・講演会(11/1)「円空仏における材の使用法—その特徴と背景を探る—」 講師：守屋 靖裕(岐阜県博物館学芸員)	
・講演会(11/15)「脳形態から迫る古生物の姿」 講師：河部壮一郎(岐阜県博物館学芸員)	
・体験ワークショップ(10/31)「勾玉(まがたま)づくり」 講師：近藤 大典(岐阜県博物館学芸員)	
・体験ワークショップ(11/14)「三葉虫ノジュール割り」 講師：西谷 徹(岐阜県博物館学芸員)	

9 利用状況

(1) 入館者数

平成28年度は、総利用者数は117,908人（H27：143,293人）で、内訳は館内への入館者が56,140人（H27：49,739人）、移動展が44,489人、移動博物館が12,841人等であった。本館への入館者数は、12%アップ、総利用者数が18%ダウンであった。

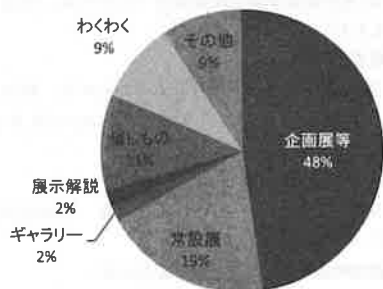
また、団体入館者は、187団体10,351人で、博物館入館者総数の18%を占め、10月が一番多く60団体であった。

月	博物館入館者数	一般	大学	高校生以下	一日平均	利用者計	1日平均
4	2,137	1,204	142	791	82	16,217	624
5	5,523	2,835	147	2,541	212	29,385	1,130
6	2,557	1,677	19	861	98	9,650	371
7	8,675	5,040	98	3,537	321	12,946	479
8	10,052	5,116	55	4,881	387	15,048	579
9	4,092	2,644	24	1,424	157	4,092	157
10	7,081	3,635	47	3,399	272	13,811	531
11	5,551	3,753	17	1,781	214	6,077	234
12	1,642	1,141	22	479	68	1,642	68
1	2,638	1,681	48	909	110	2,638	110
2	2,564	1,428	81	1,055	107	2,774	116
3	3,628	1,763	65	1,800	134	3,628	134
計	56,140	31,917	765	23,458	180	117,908	378

特 別 展 名	期 間	高校生以下	大学生	一般	計
新・恐竜学 ～鳥になった恐竜の脳科学～	7/8～9/4（51日）	4,881	147	12,776	17,804
東海地方の円空仏 ～その造形と足跡をたどる～	9/23～11/20（51日）	5,164	63	6,147	11,374

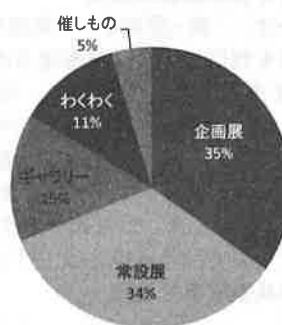
(2) 来館者アンケート

来館者の実態や意識を把握し博物館の運営に生かすために、アンケート調査とその結果の考察を実施している。



【図1 来館目的（複数選択可 n=109、H28年4月～H29年3月）】

来館目的では、図1に示すように、企画展、常設展の2項目が多く、全体の67%を占める。昨年度の結果と比較してみると、この2項目は、17ポイント増加した。展示に関する創意工夫など様々な試みが功を奏したと考えられる。一方、展示解説や催し物、わくわく体験のポイントが減少しているため、次年度の課題として考えていく必要がある。



【図2 満足できたもの（複数選択可 n=129、H28年4月～H29年3月）】

満足できたものでは、図2に示すように、企画展及び常設展が多く、次いで、マイミュージアムギャラリー、わくわく体験と続く。常設展では、企画展に比べて大きな来館目的になってはいないが、ふるさと岐阜ならではの充実した展示が喜ばれたり、子ども連れの家族を中心に子ども用展示ワークシートなどが楽しまれたりしていることなどが考えられる。

このように、来館目的と満足度との比較では、企画展、常設展の2項目の期待度と満足度がほぼ同程度であり、来館者は来館の目的をほぼ達成するとともに、企画展もさることながら、常設展のよさにも目を向けて頂いていると考えられる。今後も企画展、常設展の魅力を高め、催し物やわくわく体験など工夫を凝らしていくことが求められている。

10 博物館関係団体

(1) 岐阜県博物館友の会

博物館「友の会」は、博物館事業の普及を図るとともに、会員相互の教養を高め、親睦を深めることを目的とする会である。そのために、博物館と密接に連携を取り、博物館の事業や活動をサポートしている。

平成28年度の一般会員数は240名、後援会員は6団体である。会員数は昨年より20名増えた。これは、百年公園駐車場が無料になったことと特展の内容のよさに起因している。継続会員の高齢化は進んでおり、退会者が多いのも現実である。

若い人たちをより惹きつけるような会になるよう、博物館と一層の連携を図り、生涯学習に繋がる魅力的な活動を推進していくことが課題である。

平成28年度の主な事業、行事は次の通りである。

① 会議

春季理事会・総会	5月12日(木)
秋季理事会	10月13日(木)
会長・副会長会議	3月11日(土)

② 各種委員会

会報委員会	4月22日(金)
七草委員会	11月6日(日)、1月6日(金)

③ 広報誌の発行

季刊誌「友の会報」は116号(6月)、117号(10月)、118号(2月)の年3回発行した。各誌A4判6頁。各300部発行。

④ 図録の刊行と在庫図録の販売

特別展に合わせ、「新・恐竜学」「東海地方の円空仏」の2種類の図録を刊行した。「東海地方の円空仏」は県外からの電話注文も多く好評だった。在庫図録の販売は、館内ショップでの販売と以下の3つの外部施設での委託販売が中心である。「下呂温泉博物館」、「東京国立博物館」、「国立歴史民俗博物館(千葉県佐倉市)」。

また、刊行後10年を経過した図録のうち展示に係る一部の図録については、価格を値下げし販売した。

⑤ 博物館との共催事業の実施

・特別行事

「七草がゆを食べよう(1月7日)」は好天にも恵まれ230人を越える来客があった。友の会員の他、サポーター、ボランティアの方々の協力もあって、おいしい七草がゆを来客者に提供することができた。館内では、正月遊びの遊具を楽しむことも出来、大変好評であった。

・わくわく体験

児童・生徒を対象とした化石取り出し体験、化石レプリカづくり、万華鏡づくり、どんぐりの標本箱づくり等、サポーターの協力も得て、原則月数回、日曜日に実施され、延べ年間1,139人の参加者があった。

・けんぱく教室

「鹿角ストラップをつくろう」「かざり結びでストラップをつくろう」「水晶ジオード割り」「切り折り紙で動物や恐竜をつくろう」「まゆ玉でかわいい動物たちをつくろう」「恐竜を描こう」「恐竜を造ろう」など

⑥ 友の会員の入館料助成

今年度の会員の博物館入館者は、常設展355人、特別展期間264人の計619人で、その入館料(団体料金相当)を友の会で助成した。

⑦ 探訪の旅

友の会では、会員相互の親睦を図るとともに、見聞を広め、教養を高めるために、海外への探訪並びに国内探訪を実施している。昭和61年以降今日まで、国内探訪として、歴史的な所、旧蹟を訪ねる旅行を78回実施した。平成4年からは、更に海外探訪の旅を加え、世界遺産見学を中心に、これまでに13回に及ぶ訪問国の文化と歴史を研修する旅を進めてきた。研修と見学を柱とした友の会探訪の旅の特色は次の通りである。

・探訪の目的を明確にして、手作りの日程を策定する。

・会独自の解説書を作成し、参加者全員に配布して、現地での研修、見学に活用している。

平成28年度の探訪の旅は以下の通りである。

・「観音の里」の寺院巡り

6月5日(日) 参加者33名

・世界遺産候補、五島列島を巡る旅

10月24日(月)～26日(水) 参加者19名

(2) 岐阜県博物館協会

岐阜県博物館協会は、「会員相互の連絡提携のもとに社会教育の健全な推進と文化の向上に寄与すること」を目的に、昭和41年に設立された。

創立50周年記念講演会「博物館は誰のもの?」のほか、公開講座(年2回)、機関紙発行(年2回)、会員研修会(年2回)等の諸事業を行った。

平成29年3月現在、会員館は125館、個人会員は8名。主な役員は次の通りである。

会長…若宮多門、副会長…名和哲夫、日比野克彦、水谷淳子、高橋秀治、中井剛彦、事務局は岐阜県博物館内にある。

<主な事業>

4/8 外	創立50周年記念事業企画委員会「たかめる」部会(4/8, 2/4)
4/20	協会監査
4/19	創立50周年記念事業企画委員会「ひろめる」部会
4/23 外	第147回公開講座(4/23, 5/21, 6/18, 7/16, 8/20, 9/17, 10/15, 11/19, 12/17, 2/18, 3/18)
4/27	第1回理事会
5/17 外	創立50周年記念事業企画委員会部会長、副部会長会議(5/17, 8/30, 11/18, 2/23)
5/28	岐阜県博物館協会創立50周年記念式典 岐阜県博物館協会通常総会 岐阜県博物館協会創立50周年記念講演会
5/28～29	ギャラリー展示及びワークショップ
6/29 外	機関紙・ホームページ委員会(6/29, 9/28)
7/16～	ミュージアムスタンプラリー
7/28	東海地区博物館連絡協議会・日本博物館協会東海支部理事会・総会・講演会(岐阜県)
8/20	第148回公開講座
9/15	機関紙『岐阜の博物館』第179号発行
10/6	第91回会員研修会
11/16～18	第64回全国博物館大会(栃木県)
12/2	第41回東海三県博物館協会研究交流会(三重県)
11/29, 2/24	研修委員会
2/24	第92回会員研修会
3/7	第2回理事会
3/15	機関紙『岐阜の博物館』第180号発行

IV 利用案内 (平成29年度)

- 開館時間 4月～10月 9時 ～16時30分 (入館は16時まで)
11月～3月 9時30分～16時30分 (同上)

●入館料

区分	本館		マイ・ミュージアム棟
	通常	特別展開催中	
一般	330(270)円	600(520)円	無料
大学生	110(50)円	300(200)円	
小中高生	無料	無料	

() は20名以上の団体

- 休館日 ・月曜日 (月曜日が祝日または振替休日の場合はその翌平日)
・年末年始 (12月29日～翌年1月3日)

- 駐車場 岐阜県百年公園駐車場 (北口駐車場) をご利用ください。

交通案内



お車で越しの方は岐阜県百年公園北口駐車場 (無料) をご利用ください。北口から博物館まで300mです。歩行が困難な方は博物館入口までお車の乗り入れができますので、百年公園管理事務所でお申し出ください。

清流の国ぎふ憲章

～ 豊かな森と清き水 世界に誇れる 我が清流の国 ～

「清流の国ぎふ」に生きる私たちは、

知

清流がもたらした自然、歴史、伝統、文化、技を知り学びます

創

ふるさとの宝ものを磨き活かし、新たな創造と発信に努めます

伝

清流の恵みを新たな世代へと守り伝えます

平成26年1月31日 「清流の国ぎふ」づくり推進県民会議

岐阜県博物館報 第40号

平成29年（2017）4月1日 発行

編集・発行 岐阜県博物館

関市小屋名 1989（岐阜県百年公園内）

TEL 〈0575〉 28-3111

印刷 株式会社愛和印刷